



下記修正一覧には、重複する修正の記載がある場合があります。ご了承ください。

本Patchでは、修正/提供される内容について、下記の形式で記載いたします。

HotFixファイル名 (社内管理用番号)

機能:
機能の内容

手順:
手順の内容

問題:
問題の内容

修正:
修正の内容

■修正されるウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 の各問題および新機能

[HotFix_3700] (TT-347284)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントのウイルス/不正プログラムログに短い検出名が表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、長い検出名が表示されるようになります。

[HotFix_3704] (TT-350759)

問題:

ウイルスバスター Corp.サーバが Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) 6.0 サーバから複数のポリシーを受信すると、最初のポリシーのみが適用される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

機能:

Control Manager 6.0 サーバがポリシーを配信するたびに、ウイルスバスター Corp.サーバですべてのポリシーを受信するのではなく、アップデートされたポリシーのみを受信できるようになります。これにより、特に Control Manager 6.0

サーバが定期的にポリシー施行を実行する場合に、ウイルスバスター Corp.のパフォーマンスへの影響が軽減されます。

注意: この機能を使用するには、Control Manager 6.0 HotFix (英語版ビルド 3359/日本語版ビルド 3361) をインストールする必要があります。Control Manager の HotFix については、トレンドマイクロのテクニカルサポートにお問い合わせください。

[HotFix_3707] (TT-356474)

問題:

ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 (SP1) を適用後、PATH 環境変数が「REG_SZ」に変更される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp. 11.0 SP1 を適用していても PATH 環境変数が「REG_EXPAND_SZ」になるようにウイルスバスター Corp.サーバがアップデートされ、この問題が修正されます。

■修正されるウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 Patch 1 の各問題および新機能

[HotFix_4978] (TT-346888) [HotFix_5053] (TT-356053)

機能:

ウイルスバスター Corp.の情報漏えい対策で、Web コンソールの [情報漏えい対策
ポリシー設定] 画面の [圧縮ファイル検索] セクションで設定できる値の上限が
拡張されました。

[HotFix_4980] (TT-344248)

問題:

Trend Micro Local Web Classification Server ファイルのコピーが成功している
にも関わらず、ウイルスバスター Corp.サーバからリターンコード「9009」が返さ
れる問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_4983] (TT-346475,353072) [HotFix_5009] (TT-347873)

問題:

ネットワークドライブ上のファイルに対して [不正な暗号化や変更から文書を保
護] が機能しない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

### 機能:

ウイルスバスター Corp.サーバでウイルスバスター Corp.クライアントのフォルダ  
の権限を変更し、設定をすべてのクライアントに自動的に配信できるようになりま  
す。

### 手順:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウィルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル  
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定しま

す。

[Global Setting]

PrivilegeContolSetting=1

注意：本機能を無効にするには、値を「0」に設定します。

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥  
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc

名前: PrivilegeContolSetting

種類: REG\_DWORD

データ: 0x00000001 (1)

[HotFix\_4983.1](TT-338933) [HotFix\_5009.1] (TT-338933)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントのインストール時に、サードパーティ製のウイルス対策製品がインストールされているかどうか確認できるようになります。

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのインストール時に、次のサードパーティ製のウイルス対策製品を自動的にアンインストールするかどうか設定できるようになります。

- McAfee Agent 5.0.2.132

注意：対象のウイルス対策製品を追加するには、「tmpostuninst.ptn」ファイルを編集する必要があります。

手順:

McAfee Agent バージョン 5.0.2.132 をアンインストールしないよう設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダの「PCCSRV¥Admin」フォルダにある「tmpostuninst.ptn」ファイルを開きます。
3. サードパーティ製のウイルス対策製品のセクションで、「Support」キーの値を「0」に設定します。

[McAfee Agent 5.0.2.132]  
Support=0

値: 0 = サードパーティ製のウイルス対策製品を削除しない  
1 = サードパーティ製のウイルス対策製品を削除する

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。

[HotFix\_4986] (TT-347975)

問題:

データベースにまだエントリがないウイルスバスター Corp.クライアントがデータベースに対してクエリを実行すると、予期しないエラーが発生する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバがアップデートされ、クライアントエントリの準備ができるまで、データベースに対するクエリが実行されないようになります。

[HotFix\_4992] (TT-347260)

問題:

特殊な USB デバイスのデバイス情報が通常のフォーマットと異なる場合、デバイスリストツール (ListDeviceInfo.exe) にそのデバイス情報が表示されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、デバイスリストツール (ListDeviceInfo.exe) がアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_4993] (TT-347908)

問題:

Active Directory の構造に基づいてウイルスバスター Corp.クライアントの自動グループ化を実行した場合、[クライアント管理] 画面で正しくないドメイン構造が

## 表示される問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムがアップデートされ、Active Directory の構造に基づいた自動グループ化の実行後に、[クライアント管理] 画面に Active Directory の正しいドメイン構造が表示されるようになります。

[HotFix\_4995] (TT-348589)

### 問題:

算術オーバーフローエラーが発生し、次の Microsoft Windows アプリケーションのイベントログが記録される問題「expression をデータ型 int に変換中に、算術オーバーフローエラーが発生しました。」

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのデータベースプロセス (dbserver.exe) がアップデートされ、パラメータの順序を逆にすることで、算術オーバーフローイベントが発生しなくなります。

[HotFix\_4996] (TT-344332,344333)

### 問題:

コマンドラインインタフェースでクライアントパッケージツールを実行してクライアントインストールパッケージを作成する場合、新規にインストールするすべてのクライアントが属するドメインを指定できない問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、クライアントパッケージツールがアップデートされ、新規にインストールするクライアントのドメインを「/domain」パラメータで指定できるようになります。

[HotFix\_4999] (TT-349302)

### 問題:

JSON データに関する問題により、Web コンソールの [情報漏えい対策設定] 画面の内容が表示されず、情報漏えい対策設定をクライアントに配信できないことがある問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、FlushJson 関数が変更され、この問題が修正されます。

問題:

サーバプラットフォーム (Windows Server 2003、Windows Server 2008、および Windows Server 2012) で、次の各サービスが初期設定で無効に設定される問題

- 不正変更防止サービス
- 不審接続監視サービス
- 高度な保護サービス

上記の各サービスは強力な保護機能を提供しますが、これらのサービスの監視メカニズムがシステムリソースの負荷となる場合があります。特に、Windows Server プラットフォームでは、システムリソースに重い負荷がかかることがあります。そのためこれらのサービスは、初期設定では無効に設定されます。

修正:

本 Service Pack の適用後は、Windows Server プラットフォームに新規インストールするウイルスバスター Corp.クライアントで、上記のサービスを初期設定で有効に設定できるようになります。

手順:

Windows Server プラットフォームに新規インストールするウイルスバスター Corp.クライアントで上記のサービスを有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥Private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。
3. [INI\_SERVER\_SECTION] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

```
[INI_SERVER_SECTION]
CheckAegisOnServer=1
CheckNCIEOnServer=1
CheckCCSFOnServer=1
```

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル

ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。

6. [ServiceSwitch] セクションで、次のキーを探して値を「1」に設定します。

```
[ServiceSwitch]
EnableAEGISOnServer=1
EnableNCIEOnServer=1
EnableCCSFOnServer=1
```

7. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。

[HotFix\_5007.1] (TT-348204)

機能:

「dtoop.exe」を使用する代わりに変換用の動的ライブラリをロードするように  
情報漏えい対策オプションエンドポイント SDK 6.0 を設定できるようになります。

手順:

情報漏えい対策の「converter\_call\_method」を設定し、ウイルスバスター Corp.  
クライアントに配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバの「PCCSRV¥Private」フォルダにある  
「dlp.ini」ファイルを開きます。
3. [Configure] セクションに次のキーを追加して、値を「funcall」に設定しま  
す。

```
[Configure]
converter_call_method = funcall
```

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp.サーバの Web コンソールで、[クライアント]→[クライ  
アント管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[情報漏えい対策  
設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のキーが、  
「Windows¥System32¥dgaagent」フォルダ内の「dsa.pro」ファイルに追加され



ます。

converter\_call\_method=funccall

7. すべてのウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

[HotFix\_5008] (TT-347028,344018)

問題 1:

CD/DVD への書き込みで [USB フラッシュドライブと同じように使用する] を  
選択している場合、ウイルスバスター Corp.情報漏えい対策オプション (DLP) で  
Windows エクスプローラ (Explorer.exe) の CD/DVD への書き込みをブロック  
できない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

問題 2:

Windows エクスプローラ (Explorer.exe) の CD/DVD プレーヤの機能を使用して、
200 件を超えるファイルを CD/DVD に書き込んだ場合、情報漏えい対策オプションで
違反ログが最大 200 件までしか記録されない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、キューのサイズが拡張され、最大 100,000 件のログが
記録されるようになります。

[HotFix_5009] (TT-345955)

問題:

情報漏えい対策の違反ログのデータベースファイルが破損すると、ウイルス
バスター Corp.サーバに違反ログが 5 分間隔で重複してアップロードされる問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムが
アップデートされ、この問題が修正されます。

手順:

ウイルスバスター Corp.クライアントから情報漏えい対策の違反ログがウイルス
バスター Corp.サーバに重複してアップロードされないようにするには、次の
手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。

2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに「ReindexDLPViolationLog」キーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]

ReindexDLPViolationLog=1

注意: 本機能を無効にするには、値を「0」に設定します。

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc.

名前: ReindexDLPViolationLog

種類: dword

データ: 1

[HotFix_5014] (TT-349806)

問題:

ウイルスバスター Corp.サーバが Trend Micro Control Manager 6.0 サーバから複数のポリシーを受信すると、最初のポリシーのみが適用される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_5015] (TT-340977) [JP_HotFix_5020]

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント]→[クライアント管理]

→[設定]→[検索設定]→[リアルタイム検索設定] 画面の [メモリから検出された不正プログラムの変種を隔離] オプションおよびブラウザ脆弱性対策機能の両方が有効な場合、リアルタイム検索を実行中にウイルスバスター Corp.クライアントコンピュータが応答を停止することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_5016] (TT-347072) [JP_HotFix_5062] (TT-358075)

問題:

必要な権限のないゲストユーザでも、ウイルスバスター Corp. Web コンソールの設定を変更できることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、「TrendAuthDef.xml」ファイルに RBA ルールが追加され、CGI を使用してこのファイルからより多くの情報が取得できるようになります。これにより、必要な権限のないユーザはウイルスバスター Corp. Web コンソールの設定を変更できなくなります。

[HotFix_5018] (TT-349429)

問題:

統合 Smart Protection Server をインストールしていないにも関わらず、Web コンソールの [管理]→[Smart Protection]→[Smart Protection ソース] 画面の標準リストに統合 Smart Protection Server が表示される問題

この問題は Critical Patch (ビルド 4665) を適用している環境で発生します。

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_5020] (TT-351541,352232,345081)

[HotFix_5020.1] (TT-352232)

問題 1:

予約検索の延期時間を最大 12 時間に設定しているにもかかわらず、タスクトレイのウイルスバスター Corp.クライアントアイコンを右クリックして [予約検索の詳細設定] を選択した際に、表示される通知ウィンドウ上で 11 時間までしか設定できない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントで予約検索の延期時間を 12 時間に設定できるようになります。

問題 2:

起動時クリーンナップドライバのレジストリエントリがサービスに存在するにもかかわらず、起動時クリーンナップドライバファイルが Windows¥system32¥DRIVERS ディレクトリに存在しない場合に、システム起動時に起動時クリーンナップドライバが開始しない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、起動時クリーンナップドライバがインストールされていない場合、または起動時クリーンナップドライバファイルが見つからない場合、ウイルスバスター Corp.クライアントに起動時クリーンナップドライバをインストールすることで、この問題が修正されます。

[HotFix_5024] (TT-351708)

問題:

VSEncode ツールを使用してウイルスファイルを復号する際にエラーが発生する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_5028] (TT-352231)

問題:

クライアントパッケージで、インストールパスを指定して作成したセットアップパッケージが、Windows 10 Anniversary Update (32 ビット版) を適用済みのコンピュータで、初期設定のパスにインストールされてしまう問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、インストールパスの指定が正しく機能するようになります。

[HotFix_5029] (TT-350647) [ES_HotFix_5031] (TT-353148)

問題:

Internet Explorer 11 でウイルスバスター Corp.ブラウザプラグインが有効な場合に CPU 使用率が高くなる問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ブラウザ脆弱性対策モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_5030] (TT-352763)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント管理] 画面で、次の検索の「検索除外リスト」情報をエクスポートすると、生成される CSV ファイルにウイルスバスター Corp.クライアントのドメイン設定情報が含まれない問題

- 手動検索
- リアルタイム検索
- 予約検索
- ScanNow

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、各ウイルスバスター Corp.クライアントのドメイン設定情報が正しくエクスポートされるようになります。

[HotFix_5032] (TT-353446)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントコンピュータの電源がオフになり予約検索が中断された場合に、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] 画面の [予約検索設定] セクションにある [中断された予約検索の再開] オプションが機能しない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_5033] (TT-353871)

問題:

ファイアウォールポリシーに 249 の倍数になる数の除外設定が存在する場合、Web コンソールでファイアウォールの除外リストが正しく表示されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、サーバプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_5035] (TT-354095) [HotFix_5046] (TT-354095)
[HotFix_5053] (TT356053) [JP_HotFix_5061] (TT-354095)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントコンソールのファイアウォールの設定画面で
セキュリティレベルの設定を変更後、ファイアウォールの詳細画面が自動的に更新
されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、画面の表示を更新させるため、ウイルスバスター
Corp.クライアントコンソールのウィンドウを一度閉じて再度開くよう促すメッ
セージが表示されます。

[HotFix_5037] (TT-354956)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントでリアルタイム検索のステータス確認機能
が無効になっている場合でも、サーバにステータスが一定の間隔で送信され、ネッ
トワークトラフィックが増加する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムが
アップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_5038] (TT-354896, 355180)

(354896 EN_HotFix_5038)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントで、OfficeScan NT Listener サービスが不審
接続監視サービスのネットワークコンテンツ検査エンジン機能の管理中に応答を
停止する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムが
アップデートされ、TmListen サービスによるネットワークコンテンツ検査エンジン
機能の管理方法が強化されます。

~~~~~

(355180 EN\_HotFix\_5038)

問題 2:

メモリリークが発生し、「OfcServer.exe」が予期せず停止することがある問題

この問題は、「OfcNotifyQueue.dll」ファイルに関連して発生するメモリ割り当ての問題に起因していました。

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、メモリ割り当ての問題が発生しないようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_5040] (TT-355334)

機能:

ネットワークフィルタ機能の非同期モードを有効または無効に設定できるようになります。

手順:

ネットワークフィルタ機能の非同期モードを有効または無効に設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに「OspreyAsyncServerLookup」キーを追加し、適切な値を設定します。

[Global Setting]

OspreyAsyncServerLookup=0、ネットワークフィルタ機能の非同期モードを無効にします  
=1、ネットワークフィルタ機能の非同期モードを有効にします

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥Osprey¥Scan¥Common  
¥HttpManager¥config  
名前: AsyncServerLookup

種類: dword

データ: 0, 1

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

[HotFix\_5042] (TT-345393) [HotFix\_5043] (TT-356053)

[HotFix\_5053] (TT-356053)

問題: ▲Past\_11SP1Patch1 (EN: HotFix\_6196 / 6216 / JP: CP\_6206 /  
HotFix\_6216) Reviewed▲

挙動監視モジュールが一定の時間内に Avaya Scopia から応答を受信しない場合に、  
Avaya Scopia のログイン画面が応答を停止する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、Avaya Scopia に対する挙動監視モジュールのセルフ  
ロテクション機能を無効にできるようになります。これにより、非互換性の問題を  
防止し、保護対象コンピュータで Avaya Scopia が正常に機能するようになります。

手順:

問題が発生しているコンピュータで挙動監視モジュールのセルフプロテクション  
機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル  
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定しま  
す。

[Global Setting]

SkipDuplicateSameAccess=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバル  
クライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。



ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリ  
キーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥tmactmon¥  
Parameters

名前: SkipDuplicateSameAccess

種類: dword

データ: 0x00000001 (1) : セルフプロテクション機能を無効にします。  
0x00000000 (0) : セルフプロテクション機能を有効にします。

[HotFix\_5057] (TT-354124)

問題:

ウイルスバスター Corp.サーバが Windows サーバの Active Directory 情報と同期し  
た後、Microsoft Windows Active Directory ドメインで定義されたルールを使用す  
るクライアントの自動グループ設定で、有効なグループ設定ルールのステータスに  
「警告」を示す記号が表示されることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、有効なグループ設定ルールが、同期された  
Active Directory 情報の影響を受けなくなります。

[CP\_5060] (TT-357850)

問題: ▲Past\_XGPatch1 (CP\_5060/6325/1352/1429 /HotFix\_6263/6300/1331 /  
JP: HotFix\_6300) Reviewed ▲

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの操作中に、暗号化されたアカウントパス  
ワードが漏えいする可能性がある問題

この問題に起因して、ウイルスバスター Corp. Web コンソールが権限のないユーザ  
によりログインされる可能性があります。

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_5066] (TT-357507)

問題:

Microsoft Windows のイベントログに、セキュリティセンターからの同一の  
Application イベントのログ (SECURITY\_PRODUCT\_STATE\_ON) が大量に作成される  
問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、本製品の 12 時間のキャッシュ機能により、上記のイベントログが大量に作成されなくなります。

[HotFix\_5067] (TT-358603)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムの確認メカニズムが強化され、エンドポイントのスマートスキャンエージェントパターンファイルとウイルスパターンファイルが破損から保護されるようになります。

[HotFix\_5068] (TT-359232)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールに表示されるウイルス/不正プログラムの検出情報が、Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) 管理コンソールに表示される情報と一致しない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバにより正しいウイルス/不正プログラム情報が Control Manager に送信されるようになり、この問題が修正されます。

手順:

Control Manager に正確な情報を送信するようにウイルスバスター Corp.サーバを設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥CmAgent」フォルダにある「Product.ini」ファイルをテキストエディタで開きます。
3. [Configure] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

[Configure]

EnableSFCacheTimeout=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. OfficeScan Control Manager Agent を再起動します。

[HotFix\_5069] (TT-355701)

問題:

Trend Micro Control Manager エージェントの初期設定処理に問題があり、OfficeScan Control Manager Agent サービスが予期せず終了することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_5070] (TT-359313)

問題:

ランサムウェア対策機能でファイルの感染率が参照されず、プロセスが終了してしまう問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントで、ランサムウェアを識別するためのプロセスチェーンが確認されるようになります。すべての上位プロセスについて Smart Protection Network にクエリを実行し、対象プロセスを終了するかどうかを決定します。

[HotFix\_5071] (TT-357054)

問題:

HotFix がアップデートされると、不要なクライアント通知が大量に発生する問題

この問題は、ウイルスバスター Corp.サーバがすべてのウイルスバスター Corp.クライアントのコンポーネントを確認する際に、[ウイルスバスター Corp.クライアントにコンポーネントのアップデートを許可するが、クライアントプログラムのバージョンアップと HotFix の配信を禁止] オプションの設定にかかわらず、HotFix のバージョンが古いすべてのクライアントにアップデートを適用するよう通知することに起因します。

修正:

本 Service Pack の適用後は、このオプションが有効なクライアントには、HotFix のアップデートについてウイルスバスター Corp.サーバから通知が送信されないようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_5074] (TT-358532)

問題:

ウイルスバスター Corp.の到達不能クライアントが起動済みを表すステータスを

ウイルスバスター Corp.サーバに送信しても、サーバで対象クライアントのアップデートフラグが自動的に設定されず、サーバでファイル変更イベントが発生するまでクライアントがアップデートを受信できない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバが到達不能クライアントから起動済みを表すステータスを受信した場合、対象クライアントのアップデートフラグが自動的に設定されるようになります。

[HotFix\_5077] (SEG-3129)

問題:

「ofcserver.ini」ファイルの「SourceUUID」設定の値が上書きされ、不審オブジェクトリストをアップデートできないことがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、「SourceUUID」設定が予期せず上書きされることはなくなります。

[JP\_HotFix\_5078] (SEG-2143)

問題:

クライアント情報を含むエクスポート済み CSV ファイルで、Windows プラットフォームと Windows Embedded プラットフォームが区別されていない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、エクスポート済み CSV ファイルで、クライアントが Windows プラットフォームと Windows Embedded プラットフォームのどちらで実行されているか明記されるようになります。

[HotFix\_5080] (SEG-2745)

問題:

脆弱性検索ツールが無効なファイルパスへのアクセスを試行することに起因して、ブルースクリーン (BSOD) が発生することがある問題

この問題は、Microsoft Windows Vista またはこれ以降にリリースされたバージョン (Windows Server 2008 など) を実行しているコンピュータで発生します。

修正:

本 Service Pack の適用後は、脆弱性検索ツールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_5082] (TT-358977)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントで、Smart Protection Network への接続を定期的に確認できるようになります。さらにこの機能の追加により、コンソールのステータスアイコンがアップデートされます。

手順:

ウイルスバスター Corp.サーバでこの機能を有効にし、設定をすべてのクライアントに自動的に配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]  
ChkGlobalWCS=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥  
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥iURL Scan.  
名前: ChkGlobalWCS  
種類: dword  
データ: 1

[HotFix\_5085] (SEG-5616)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントのレジストリキーで、「Publisher」のデータが異なることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_5087] (SEG-10203)

問題:

挙動監視機能により、ウイルスバスター Corp.クライアントで多数の「TMBMSrvFull.dmp」ダンプファイルが生成されることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_5088] (SEG-10012)

問題:

挙動監視エンジンでポリシーと一致しているか照合中にクラッシュが発生し、挙動監視フォルダに多数の TMBMSrvFull.dmp ファイルが作成される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、パターンファイル内の問題が修正され、エンジンフローが強化されます。

## ■修正されるウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 Patch 1 Crical Patch 6077 の各問題および新機能

[HotFix\_6077] (TT-347401)

### 機能:

情報漏えい対策オプションエンドポイント SDK 6.0 で、QUIC 対応の Chrome 51.0.2704.84m がサポートされるようになります。

[HotFix\_6082] (TT-347481) [JP\_HotFix\_6155] (TT-352702)

### 問題:

ウイルスバスター Corp.サーバで「ofcserver.ini」ファイル进行处理する際にハンドルリークが発生し、ファイルが破損することがある問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバで.ini ファイルが正しく処理されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_6084] (TT-347525)

### 問題:

Trend Micro Control Manager サーバに登録して不審オブジェクトリストを取得できず、「-1」エラーが返される問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、Local Web Classification Server (LWCS) を有効にするだけでなく、インストールして有効にすることによって、この問題が修正されます。

[HotFix\_6084.1] (TT-347733) / [JP\_HotFix\_6252](TT352284)

### 問題:

ユーザモードフック (UMH) ドライバにより、予期しないエラーが発生する問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) ドライバがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6084.2] (TT-348437,343850)

### 問題 1:

[ネットワークドライブの検索] 設定が無効な場合でも、リアルタイム検索でネットワークドライブが検索される問題

### 修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

問題 2:

ウイルスバスター Corp.クライアントのウイルス/不正プログラムログに短い検出名が表示される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのウイルス/不正プログラムログに長い検出名が表示されるようになります。

[HotFix_6085] (TT-347807,349431)

問題:

Microsoft Windows 10 Anniversary Update プラットフォームで情報漏えい対策オプションサービスを有効にすると、ブルースクリーン (BSOD) が発生する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6085.1] (TT-347931,350401)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールで [デバイスコントロール設定] 画面の設定を保存できない問題

この問題は、[クライアント管理] 画面でルートドメインアイコンを選択して [デバイスコントロール設定] 画面の設定を編集した場合に発生します。

修正:

本 Service Pack の適用後は、サーバのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_6088] (TT-348887)

問題:

Microsoft Windows のドメインユーザアカウントを使用してウイルスバスター Corp.データベースを CodeBase から SQL データベースに移行すると、SQL スキーマのアップデート時に「conhost.exe」アプリケーションエラーが発生することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、SQL スキーマのアップデート時、Windows アプリケーションプログラムインタフェース (API) の代わりに別のメソッドが使用されるようになり、この問題が修正されます。


~~~~~

機能:

SQL を移行する際のフォルダ書き込み権限の確認が強化されます。エンドユーザはウイルスバスター Corp.サーバフォルダに対するフルコントロール権限を Windows ドメインユーザに付与し、ローカル管理者または Active Directory ビルトイン管理者によって、このオブジェクトの親からの継承可能なアクセス許可を含める必要があります。

[HotFix\_6091] (TT-348682)

問題:

ウイルスバスター Corp.アップデートエージェントからウイルスバスター Corp.クライアントに不審接続監視設定が配信されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6093] (TT-348911)

機能:

情報漏えい対策オプションエンドポイント SDK 6.0 で、QUIC 対応の Chrome 51.0.2704.106m がサポートされるようになります。

[HotFix\_6094] (TT-347090)

問題:

Critical Patch (ビルド 6077) の適用後、Microsoft Office 2007 のドキュメントを Microsoft SharePoint 2010 から開けない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.の DRE モジュールが強化されます。DRE モジュールではリモートドライブファイルがバックアップされないため、挙動監視モジュールから DRE モジュールへのリモートドライブファイルイベントの送信をスキップする必要があります。

[HotFix\_6098] (TT-348679)

問題:

クライアントのインストール前に、ウイルスバスター Corp.クライアントを、クライアントコンピュータで事前定義していたマルチレイヤードメインに割り当てられない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバおよびクライアントのファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

手順:

ウイルスバスター Corp.クライアントを、クライアントのインストール前にクライアントコンピュータで事前定義していたマルチレイヤードメインに割り当てるには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. クライアントコンピュータで Windows レジストリエディタを開きます。
3. 目的のドメインについて次のレジストリ情報を追加します。

32 ビット版のウイルスバスター Corp.クライアントの場合:

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorpOnce¥CurrentVersion]
"Domain"="ドメイン名"
"Server"="サーバ名"
"ServerPort"=dword:xxxxxxxx
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorpOnce¥CurrentVersion¥Internet
Settings]
"ServerPort"=dword:xxxxxxxx
"Server"="サーバ名"
"UseProxy"=dword:00000000
```

64 ビット版のウイルスバスター Corp.クライアントの場合:

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorpOnce¥CurrentVersion]
"Domain"="ドメイン名"
"Server"="サーバ名"
"ServerPort"=dword:xxxxxxxx
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorpOnce¥CurrentVersion¥Internet
Settings]
"ServerPort"=dword:xxxxxxxx
"Server"="サーバ名"
```

"UseProxy"=dword:00000000

4. ウイルスバスター Corp.クライアントをインストールします。

[HotFix\_6101] (TT-349224)

問題:

既存のファイルシステムにフォルダとしてマップされているドライブ (マウントポイント) に対して、ウイルスバスター Corp.検索除外リストが機能しない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントが承認済みデバイスの完全なリストを取得するようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_6105] (TT-348521)

機能:

[クライアント管理] ツリーに [オフライン時間] 列を追加して、同じ情報を、ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント管理] 画面でエクスポートする CSV ファイルに追加できるようになります。この列には、ウイルスバスター Corp.クライアントがウイルスバスター Corp.サーバに最後に接続できなかった際の日時が表示されます。

注意: 本 Service Pack の適用後は、[クライアント管理] ツリーの列の順序が初期設定にリセットされます。

手順:

[クライアント管理] ツリーに [オフライン時間] 列を追加するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバの「PCCSRV¥Private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。
3. [SERVER\_CONSOLE\_SECTION] セクションの下に、次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

[SERVER\_CONSOLE\_SECTION]

ShowNotConnectedTime = 1

注意: [クライアント管理] ツリーの [オフライン時間] 列を非表示にするには、値を「0」に設定します。

4. Web ブラウザを再ロードまたは再起動します。

## [HotFix\_6106] (TT-350909)

### 問題:

Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) に表示される検出時の処理結果の情報が、ウイルスバスター Corp.のログ情報と一致しない問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバにより正しい処理結果が Control Manager へ送信されるようになり、Control Manager に表示される検出時の処理結果の情報とウイルスバスター Corp.のログ情報が一致するようになります。

## [HotFix\_6109] (TT-349291,349315)

### 機能:

Web ブロックサービスモジュールがアップグレードされ、URL 検索の結果がない場合、IP 検索がサポートされるようになります。

## [HotFix\_6110] (TT-347260)

### 問題:

特殊な USB デバイスのデバイス情報が通常のフォーマットと異なる場合、デバイスリストツール (ListDeviceInfo.exe) にそのデバイス情報が表示されない問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、デバイスリストツール (ListDeviceInfo.exe) がアップデートされ、この問題が修正されます。

## [HotFix\_6111] (TT-343705)

### 問題:

メモリリークが発生し、「OfcServer.exe」が予期せず停止することがある問題

この問題は、「OfcNotifyQueue.dll」ファイルに関連して発生するメモリ割り当ての問題に起因していました。

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、メモリ割り当ての問題が発生しないようになり、この問題が修正されます。

## [HotFix\_6112] (TT-349873, 349169)

(349873 EN\_HotFix\_6112)

問題 1:

挙動監視サービスが予期せず停止すると、自動的にすべてのプラグインに停止するよう通知されるが、ユーザモードイベントフックプラグインに通知が送信されないことがあり、結果として CPU 使用率が高くなる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視サービスで未処理の例外が検出された場合はイベントの送信を停止し、ユーザモードイベントフックプラグイン自体を初期化しないようこのプラグインに通知が送信されるようになります。これにより、挙動監視サービスが予期せず停止した場合の CPU 使用率の問題が修正されます。

~~~~~  
(349169 EN_HotFix_6112)

問題 2:

DRE から UNC パス上のファイルにアクセスしようとすると、権限の問題が発生し、既存の UNC パス接続が切断される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6114] (TT-349491)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [情報漏えい対策設定] 画面および [デバイスコントロール設定] 画面にアクセスできない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、サーバプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_6118] (TT-346362,343900)

問題 1:

64 ビットのプラットフォーム上で、Microsoft Windows 32 ビットアプリケーションを使用してドキュメントを印刷しようとすると、対応する情報漏えい対策ログで CD/DVD チャンネルが参照される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、対応する情報漏えい対策ログで正しいチャンネルが参照されるようになります。

~~~~~

問題 2:

ユーザが読み取りアクセス権限のみを持つ USB ストレージデバイスのアプリケーションを実行できる問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、適切な権限を持つユーザのみが USB ストレージデバイスのアプリケーションを実行できるようになります。

[HotFix\_6120] (TT-349937)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.サーバからウイルスバスター Corp.クライアントに設定変更通知が 2 回送信される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、1 回の設定変更につき 1 回のみ通知が送信されるようになります。

~~~~~

問題 2:

Active Directory の構造に基づき、[クライアントの並べ替え] オプションを使用してウイルスバスター Corp.クライアントをグループ化すると、[クライアント管理] 画面で予期しないドメイン構造が作成される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバがアップデートされ、この問題が修正されます。

手順 2:

[クライアント管理] 画面で Active Directory のドメイン構造に基づいてウイルスバスター Corp.クライアントを正しくグループ化できるようにするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダの「PCCSRV¥Private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。
3. [INI_AD_INTEGRATION_SECTION] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

```
[INI_AD_INTEGRATION_SECTION]  
IndividualDC=1
```

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. OfficeScan Server Master Service を再起動します。

[HotFix_6121] (TT-345044)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントをウイルスバスター Corp.サーバ間で移動する際に接続エラーが発生すると、ウイルスバスター Corp.クライアントが元のサーバから登録解除されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、接続エラーが発生しても、ウイルスバスター Corp.クライアントを元のウイルスバスター Corp.サーバから登録解除できるようになります。

手順:

ウイルスバスター Corp.クライアントを元のウイルスバスター Corp.サーバから正常に登録解除できるようにするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダの「PCCSRV¥Private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。
3. 次のセクションとキーを追加します。

```
[MOVE_CLIENT_SECTION]  
EnableDeleteAfterMove= 1
```

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. OfficeScan Master Service を再起動します。

[HotFix_6122] (TT-350061) [HotFix_6130] (TT-350849)

問題:

ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 の挙動監視機能により正当なプログラムがブロックされる問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.の挙動監視のローカルパターンファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_6126] (TT-350139)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントで圧縮ファイル内のウイルスおよび不正プログラムを検索する場合に、検出されたウイルスおよび不正プログラムの合計数が対応する検索ログに表示されるが、この合計数が正確でない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_6126.1] (TT-349445)

問題:

TLS (Transport Layer Security) 1.2 を使用する Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) サーバにウイルスバスター Corp.を登録しようとする
と、登録に失敗し、Control Manager コンソールにエラーが表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.で TLS 1.2 がサポートされる
ようになり、このプロトコルを使用して Control Manager サーバに登録できるようになります。

[HotFix_6127] (TT-350116)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント管理] 画面で、詳細検索
タスクが結果を表示しないまま 1 分以上かかってタイムアウトすることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、タイムアウト値が 10 分に延長され、詳細検索の結果が
正常に表示されるようになります。

[HotFix_6128] (TT-347348) [JP_HotFix_6135]

機能:

本 Service Pack には「Trend Micro NSC Firefox Extension」と「Trend Micro
Osprey Firefox Extension」の新しいバージョンが含まれています。これらのバージョンは Firefox の新しいセキュリティガイドラインに準拠しました。これにより、Firefox バージョン 43 以降に対応します。

[HotFix_6129] (TT-347282,349815,350397) [FR_HotFix_6181] (TT-353986)

機能 1:

ウイルスバスター Corp.サーバを設定して、コンプライアンスレポートの生成
により、データベースにクライアントの UID が存在するか確認し、見つからない
場合は再度登録するようクライアントコンピュータに通知できるようになります。

手順 1:

この機能を有効にして設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに「ProtectionReportFrequency」キーと「AutoOnStart」キーを追加して、適切な値を設定します。

[Global Setting]

ProtectionReportFrequency=(ウイルスバスター Corp.サーバでデータベースに
クライアントの UID が存在するかどうかコンプライ
アンスレポートを介して確認する分単位の頻度。最小値は 2 分です。)
AutoOnStart=1、クライアントの UID が存在しない場合に、サーバに登録し直す
よう、ウイルスバスター Corp.サーバからクライアントに OnStart コマンドを実行できます。
=0、コマンドの実行は無効になります。

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリ
キーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥
CurrentVersion¥Misc.

名前: ProtectionReportFrequency
種類: REG_DWORD
データ: 2

名前: AutoOnStart
種類: REG_DWORD
データ: 1

~~~~~

機能 2:

HotFix ファイルをダウンロードし検索エンジンを再ロードする間、ウイルス

バスター Corp.クライアントプログラムファイルのデジタル署名の確認をスキップするようにウイルスバスター Corp.クライアントを設定できるようになります。

手順 2:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。  
  
[Global Setting]  
DOVF=1
4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥  
CurrentVersion¥Misc.

名前: DOVF

データ: 1

[HotFix\_6131] (TT-351400)

問題:

ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムおよびウイルスバスター Corp.クライアントのスマートスキャンモジュールで使用されている OpenSSL のバージョンが脆弱性の影響を受ける問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、サーバモジュールとスマートスキャンモジュールで使用されている OpenSSL のバージョンがアップデートされ、この問題が修正されます。

## [HotFix\_6133] (TT-349682)

### 問題:

ウイルスバスター Corp.サーバでデータベースクエリを管理する際、クエリ処理によって「HTTPDB」フォルダに多数の Que\*.tmp ファイルが作成されることがあり、クエリ処理の完了後もこれらのファイルがただちに削除されない問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、データベースクエリ処理のエラー管理メカニズムが強化されて、Que\*.tmp ファイルの数が制限され、クエリ処理の完了後にこれらのファイルがただちに削除されるようになります。

## [HotFix\_6135] (TT-349382,349804,351716) [JP\_HotFix\_6135.1] (TT-351716)

### 問題:

ファイアウォールポリシーに多くの除外設定が存在する場合、ウイルスバスター Corp.クライアントでブルースクリーン (BSOD) が発生することがある問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ファイアウォールモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

### 注意:

ファイアウォールモジュール更新のため、本 Service Pack の適用後にウイルスバスター Corp.クライアントがインストールされている端末を再起動してください。

## [HotFix\_6138] (TT-351092)

### 問題:

管理対象外のエンドポイントの診断を行うと、製品ツリーに「オンライン」と表示されているコンピュータの結果が「未解決の Active Directory 診断」となる問題

この問題は、Active Directory ドメインサーバからクエリされた AD\_GUID のベクターが、データベースからクエリされたベクターと大文字小文字が異なっていることにより区別されるため、発生していました。

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、比較メカニズムで大文字と小文字が区別されないようになり、エンドポイントを正確に診断できるようになります。

[HotFix\_6140] (TT-351523)

問題:

挙動監視除外リストに重複するエントリが表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この画面の [保存] ボタンがクリック直後に無効になるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_6140.1] (TT-349969)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントをリモートでコンピュータにインストールした後、ウイルスバスター Corp.サーバはそのインストールに対して新しいネットワークドライバをマップするが、これらのネットワークドライバが削除されずにサーバに残ることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、クライアントのリモートインストール処理がアップデートされ、クライアントのインストール後、マップされたネットワークドライバが自動的に削除されるようになります。

[HotFix\_6141] (TT-348733,348919)

問題 1:

情報漏えい対策オプションモジュールで、Outlook Web App 2003 および 2010 の機密情報を含む添付ファイルがブロックされない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

問題 2:

SCOM とやりとりするトラフィックの検索に関するエラーにより、「dgtmpmon」フォルダのディスク使用量が高くなる問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6147] (TT-352003)[JP\_HotFix\_6252]

問題:

コマンドラインインタフェースでクライアントパッケージツールを実行してウイルスバスター Corp.クライアントのセットアップパッケージまたはアップデート

パッケージを作成する場合、新規にインストールするすべてのクライアントが属するドメインを指定できない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、クライアントパッケージツールがアップデートされ、新規にインストールするクライアントのドメインを「/domain」パラメータで指定できるようになります。

[HotFix\_6148] (TT-351433)

問題:

ウイルスバスター Corp.ではデータベースサービスのスイッチフラグを WRS フラグとして処理するため、ウイルスバスター Corp.のセキュリティコンプライアンスレポートに WRS がコンプライアンス違反であると表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、サーバプログラムがアップデートされ、WRS フラグが「ofcscan.ini」ファイルから読み取られるようになります。

[HotFix\_6149] (TT-352606)

問題:

新しいランサムウェア検出ログのラベルが「Ransom.」で始まることに起因して、ランサムウェアウィジェットに表示されるランサムウェアの件数に、すべてのランサムウェアファイルの検出が含まれない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、「Ransom.」で始まるランサムウェア検出ログがランサムウェアの件数に含まれるようになります。

[HotFix\_6151] (TT-352084)

問題:

次の各サービスは強力な保護機能を提供しますが、これらのサービスの監視メカニズムがシステムリソースの負荷となる場合がある問題。特に Windows サーバプラットフォームでは、システムリソースに重い負荷がかかることがあります。

- 不正変更防止サービス
- 不審接続監視サービス
- 高度な保護サービス

そのため、これらのサービスは Windows Server 2003、2008、および 2012 では初期

設定で無効となっています。

修正:

本 Service Pack の適用後は、Windows Server プラットフォームに新規インストールするウイルスバスター Corp.クライアントで、上記のサービスを初期設定で有効にできるようになります。

手順:

Windows Server プラットフォームに新規にインストールするウイルスバスター Corp.クライアントで上記のサービスを有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥Private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。
3. [INI\_SERVER\_SECTION] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

```
[INI_SERVER_SECTION]
CheckAegisOnServer=1
CheckNCIEOnServer=1
CheckCCSFOnServer=1
```

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
6. [ServiceSwitch] セクションで、次のキーを探して値を「1」に設定します。

```
[ServiceSwitch]
EnableAEGISOnServer=1
EnableNCIEOnServer=1
EnableCCSFOnServer=1
```

7. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。

[HotFix\_6152] (TT-350056)

問題:

レジストリエントリが破損している場合、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムの情報漏えい対策オプションモジュールが正常にアップグレードされないことがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムがアップデートされ、情報漏えい対策オプションモジュールを正常にアップデートできるようになります。

[HotFix\_6157] (TT-351733)

問題:

ウイルスバスター Corp.の高度な保護サービスと不正変更防止サービスに互換性がないため、OfficeScan Common Client Solution Framework (TMCCSF.exe) サービスが予期せず停止することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 の OfficeScan Common Client Solution Framework モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6158] (TT-352281)

問題:

高度な保護サービスが有効な場合に、TmCCSF.exe プロセスにより CPU 使用率が高くなる可能性がある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6167] (TT-352149)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントで、ウイルス検索エンジンドライバを起動できないために「Ntrtscan.exe」プロセスが繰り返し停止する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、「Ntrtscan.exe」が正常に起動して動作するようになります。

[HotFix\_6167.1] (TT-350646)

機能:

ウイルスバスター Corp.情報漏えい対策オプションで、情報漏えい対策ログ内の複

数のフォレンジックスデータセッションがサポートされるようになります。

#### [HotFix\_6168] (TT-352886,352245)

##### 問題 1:

「http://dlptest.com」を使用して情報漏えい対策ポリシーをテストする場合に、  
ウイルスバスター Corp.クライアントで Web サイト上のポリシー違反情報がブロックされない問題

##### 修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントの情報漏えい対策オプションモジュールによって、ポリシー違反情報を含む Web サイトへの  
HTTP/HTTPS 投稿がブロックされるようになります。

~~~~~

問題 2:

情報漏えい対策オプションモジュールの問題により、「SourceTree.exe」の実行
時に CPU 使用率が高くなることがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

##### 問題 3:

情報漏えい対策データ識別子パターン「英国: RD&E 病院の患者番号」アルゴリズム  
により、誤検出が発生することがある問題

##### 修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

問題 4:

情報漏えい対策オプションに起因して、ユーザがドラッグアンドドロップで Gmail
に添付ファイルをアップロードした際に Google Chrome が応答を停止する問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

##### 機能:

情報漏えい対策で、QUIC を有効にしていないバージョン 53.0.2785.116 m の Google  
Chrome Web ブラウザがサポートされるようになります。

#### [HotFix\_6170] (TT-353233)

##### 問題:

エンコード/デコードの呼び出しメカニズムの不一致により、ウイルスバスター



## Corp.サーバが Active Directory ドメインと同期できない問題

### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6177] (TT-352580)

### 機能:

ネットワークフィルタ機能の非同期モードを有効または無効に設定できるようになります。

### 手順:

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、適切な値を設定します。

[Global Setting]

OspreyAsyncServerLookup=0、ネットワークフィルタ機能の非同期モードを無効にします  
=1、ネットワークフィルタ機能の非同期モードを有効にします

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥Osprey¥Scan¥Common  
¥HttpManager¥config  
名前: AsyncServerLookup  
種類: dword

[HotFix\_6178] (TT-353384,352548,353648)

[HotFix\_6193] (TT-354503,354563,354690)

### 問題 1:

Windows 10 Anniversary Update プラットフォームで、ping の結果が正常であるにもかかわらず異常なメッセージがいくつか表示される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

問題 2:

UNC パスで表示されているファイルをウイルスバスター Corp.クライアントで正常に検索できないことがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、クライアントファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_6182] (TT-353787)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントがファイアウォールログをサーバに送信しない設定になっているにもかかわらず、クライアントを再起動したときにファイアウォールログがサーバに送信されてしまう問題がありました。

修正:

本 Service Pack の適用後は、本問題が修正されます。

[HotFix_6183] (TT-349599)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムの確認メカニズムが強化され、エンドポイントのスマートスキャンエージェントパターンファイルとウイルスパターンファイルが破損から保護されるようになります。

[HotFix_6184] (TT-354760)

問題:

ファイアウォールポリシーに 249 の倍数になる数の除外設定が存在する場合、Web コンソールでファイアウォールの除外リストが正しく表示されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、サーバプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_6187] (TT-354226)

問題：

ウイルスバスター Corp.情報漏えい対策オプションに起因して、Google Chrome
53.0.2785.116 がハングする問題

修正：

本 Service Pack の適用後は、Chrome を QUIC モードで実行するとハングする問題が修正されます。

[HotFix_6190] (TT-348875)

問題：

ウイルスバスター Corp.情報漏えい対策ポリシー設定のリムーバブルストレージの
除外に USB 接続フロッピーを追加できない問題

修正：

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6196] (TT-352967,353712,354440) [HotFix_6216] (TT-350316)

問題 1:

UEFI とセキュアブートの両方が有効な場合、Microsoft Windows 10 で一部のドライ
バをロードできない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ドライバがアップデートされてデジタル署名
「Microsoft Windows Hardware Compatibility Publisher」と表示されるようにな
り、この問題が修正されます。

~~~~~  
問題 2:

挙動監視モジュールが一定の時間内に応答を受信しない場合に、Avaya Scopia のロ  
グイン画面が応答を停止する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、Avaya Scopia に対する挙動監視モジュールのセルフプ  
ロテクション機能を無効にできるようになります。これにより、非互換性の問題を  
防止し、保護対象コンピュータで Avaya Scopia が正常に機能するようになります。

手順 2:

問題が発生しているコンピュータで挙動監視モジュールのセルフプロテクション機  
能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。

2. ウイルスバスター Corp.クライアントサービスを停止します。

3. レジストリエディタを開きます。

4. 次のキーを追加して、その値を「0x00000001」に設定します。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥  
Services¥tmactmon¥Parameters

名前: SkipDuplicateSameAccess

種類: dword

データ: 0x00000001 (1) : セルフプロテクション機能を無効にします。

0x00000000 (0) : セルフプロテクション機能を有効にします。

5. ウイルスバスター Corp.クライアントサービスを開始します。

~~~~~

問題 3:

ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 (ビルド 6134) へのアップグレード後、[クライアント管理]→[クライアントツリーの管理]→[クライアント/ドメインの削除] 画面でドメインを削除すると、ウイルスバスター Corp. Web コンソールが応答を停止する問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6199] (TT-353736)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアント情報を含む SQL テーブルのインデックスメカニズムが強化されます。

[CP_6206] (TT-356190)

問題:

Critical Patch ビルド 6125 の適用後に、[メモリから検出された不正プログラムの変種を隔離] オプションを有効にした状態でリアルタイム検索を有効にすると、ウイルスバスター Corp.クライアントのパフォーマンスが低下して、Windows コンピュータの処理速度も低下する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6209] (TT-353132)

問題:

[ステータスをオンラインで確認] ボタンをクリックした後、ウイルスバスター Corp.の[製品ライセンス] 画面に誤ったライセンス情報が表示されることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6212] (TT-352273) [DE_HotFix_6224] (TT-356025)

問題 1: ▲Past_11SP1Patch1 (EN: HotFix_6212 / JP: n/a) /
XGPatch1 (EN: HotFix_6224 / JP: n/a) Reviewed▲
ユーザモードフック (UMH) ドライバにより予期しないエラーが発生する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) ドライバがアップデート
され、この問題が修正されます。

~~~~~

問題 2: ▲Past\_11SP1Patch1 (EN: HotFix\_6212 / JP: n/a) /  
XGPatch1 (EN: HotFix\_6224 / JP: n/a) Reviewed▲  
ユーザモードフック (UMH) ドライバにより、Microsoft Windows 10 Anniversary  
Update プラットフォームで予期しないエラーが発生する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) ドライバがアップデート  
され、この問題が修正されます。

[HotFix\_6213] (TT-355509)

問題:

Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) に登録されているウイルスバスター Corp. クライアントのコンピュータ名を変更した場合に、Control Manager 上のコンピュータ名が変更されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp. クライアントのコンピュータ名を変更した場合にも自動的に Control Manager 上のコンピュータ名が変更されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_6213.1] (TT-352977)

問題:

「PolicyExportTool.exe」ユーティリティを使用して Trend Micro Control

Manager からウイルスバスター Corp.ポリシーを配信すると、エクスポートしたポリシーに comOSCECCCA コンポーネントの誤った種類が表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6214] (TT-353505)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [スパイウェア/グレーウェアログ] 画面にある [日時] フィールドに、ウイルスバスター Corp.クライアントで不正プログラムが検出された日時ではなく、サーバがセキュリティログを受信した日時が表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6214.1] (TT-355109)

問題:

Web コンソールの [診断]→[管理対象外のエンドポイント] 画面で、Active Directory 下のエンドポイントにウイルスバスター Corp.クライアントをインストールする場合、エンドポイント名にアンド記号 (&) が含まれていると、[クライアントインストールの進行状況] に進行状況が表示されないことがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[JP\_HotFix\_6217] (TT-355734)

問題:

「DomainSetting.ini」ファイルにマルチバイト文字が含まれていると、  
「dsu\_convert.exe」ツールが予期せず停止してエラーメッセージが出力される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、「dsu\_convert.exe」ツールでマルチバイト文字がサポートされるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_6221] (TT-355317)

問題:

「ofcscan.ini」ファイルに「RmvTmTDI = 1」を設定すると、ウイルスバスター

Corp.クライアントの次のドライバが削除され、Web レピュテーションサービスの動作が停止することがある問題

- TMTDI.sys
- TMEEVW.sys
- TMUSA.sys

修正:

本 Service Pack の適用後は、「RmvTmTDI」が有効に設定された場合でも Web レピュテーションサービスが正常に動作するように、ウイルスバスター Corp.クライアントで「TMEEVW.sys」ドライバと「TMUSA.sys」ドライバが削除されないように設定できるようになります。

手順:

「RmvTmTDI = 1」が設定された際に、ウイルスバスター Corp.クライアントで「TMTDI.sys」ドライバのみが削除されるようにするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]

RmvTmTDI = 1

KeepOspreyWhenRmvTmTDI = 1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp.サーバの Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: 64 ビットプラットフォームの場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥

PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc.

32 ビットプラットフォームの場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥  
CurrentVersion¥Misc.

名前: KeepOspreyWhenRmvTmTDI

種類: DWORD

データ: 1

[HotFix\_6223] (TT-349600)

機能:

次のウイルスバスター Corp.サービスの設定を、Windows サーバプラットフォーム  
のドメインレベルで適用できるようになります。

- 挙動監視サービス
- ファイアウォールサービス
- 情報漏えい対策オプションサービス
- 不審接続監視サービス
- 高度な保護サービス

手順:

ウイルスバスター Corp.サービスの設定を Windows サーバプラットフォームの  
ドメインレベルで適用できるようにするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の  
「PCCSRV¥private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。
3. [INI\_SERVER\_SECTION] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定  
します。

[INI\_SERVER\_SECTION]

SupportToConfigureServerPlatformForMultiClient=1

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。

[HotFix\_6227] (TT-355419)

問題 1:

Microsoft Excel でセルの内容を別のセルにコピーするとシステムが応答しなくなることがある問題



修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

問題 2:

MAX_FILE_SIZE と MAX_CHECK_FILESIZE を設定して *.* をブロックしようとすると、
ファイルが zip 内にある場合に、サイズが設定した値を超えているにもかかわらず、
zip ファイル内のファイルがブロックされる問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正され、zip ファイル内または zip ファイル
外のファイルについてブロックサイズが同様に確認されるようになります。

~~~~~

問題 3:

情報漏えい対策オプションに起因して、パッチ適用ソフトウェア (Lumension  
Heat) が動作を停止する問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、次の 2 つのプロセスが除外されないようになります。

-XMLDeltaParser.exe

-DAgent.exe

[HotFix\_6231] (TT-354728)

機能:

Trend Micro Control Manager サーバでクライアントネットワーク隔離機能が実行  
されたとき、確立されている接続をウイルスバスター Corp. クライアントで自動  
的に切断し、復元するように設定できるようになります。

手順:

新しいサービスの設定を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル  
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定しま  
す。

[Global Setting]

cnqConnectionTermination=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro  
¥PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc.

名前: cnqConnectionTermination

種類: DWORD

データ: 0 = ネットワーク接続の復元をサポートする

1 = ネットワーク接続の復元をサポートしない

注意: この機能は IP アドレスを DHCP サーバから自動的に取得するコンピュータでのみ利用できます。

[HotFix\_6244] (TT-349527)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントが不正プログラムを検出した際に表示されるポップアップに、ウイルスを正しく処理できなかった場合でも、「次の脅威またはセキュリティポリシー違反が解決されました。」というメッセージが表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、「次の脅威またはセキュリティポリシー違反が検出されました。」というメッセージが表示されるようになります。

[HotFix\_6250] (TT-356853)

問題:

ウイルスバスター Corp. 11 Service Pack 1 Critical Patch ビルド 6077 を Web インストールでインストールする場合、ActiveX コンポーネントの「WinNTchk.dll」がアップデートされず、Web インストールに失敗する問題

ウイルスバスター Corp. 10.5 Patch 6 を Web インストールでインストールすると、ActiveX もインストールされます。しかし、ActiveX がウイルスバスター Corp.クライアントのアンインストール時に削除されないため、以前のバージョンの「WinNTchk.dll」がインストールフォルダに残ったままとなり、この問題が発生していました。

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバによって Web インストール時に「WinNTChk.cab」ファイルのバージョン情報が追加されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_6252] (TT-358070, TT357381, TT355584)

(Patch 1 repack)

問題 1:

Microsoft Windows Vista または Microsoft Windows Server 2008 を実行中のエンドポイントで、ウイルスバスター コーポレートエディション 11 Service Pack 1 Patch 1 の OfficeScan NT Listener サービス (TmListen.exe) が起動に失敗する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT357381)

問題 2:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント管理] 画面で、次の検索の「検索除外リスト」情報をエクスポートすると、生成される CSV ファイルにウイルスバスター Corp.クライアントのドメイン設定情報が含まれない問題

- 手動検索
- リアルタイム検索
- 予約検索
- ScanNow

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、各ウイルスバスター Corp.クライアントのドメイン設定情報が正しくエクスポートされるようになります。

~~~~~

(TT355584)

問題 3:

アップデートエージェントにより管理されるウイルスバスター Corp.クライアントで、「NtrtScan.exe」プログラムが再ロードを続けるため、タスクトレイの [ウイルスバスター Corp.クライアント] アイコンが赤い表示になる問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、「クライアント接続」設定がグローバル設定に構成さ

れるようになります。この変更が行われると SAF (Setting Aggregation File) パッケージがアップデートされるため、アップデートエージェントにより管理されるウイルスバスター Corp.クライアントからウイルスバスター Corp.サーバにレポートが送信されるようになり、クライアントに新しい設定が存在する場合は設定フラグがクリアされて、この問題が修正されます。

[HotFix\_6258] (TT-354263,357598,355833,357926,357331,356698,357554,344921,356965) [HotFix\_6396] (TT-357507)

(TT354263)

問題 1:

データベースのバックアップパスが UNC (Universal Naming Convention) 表記であり、使用するアカウント名の長さが 32 文字を超える場合、ウイルスバスター Corp.サーバデータベースがクラッシュすることがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT357598) / (TT-357507)

問題 2:

Windows イベントログで大量のメッセージが生成される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのキャッシュ時間が 12 時間に延長され、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT357926)

問題 3:

情報漏えい対策オプションで、Outlook.com などの最新の Web メールサイトがブロックされない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT357331)

問題 4:

UID にルートドメインの UID を設定したウイルスバスター Corp.クライアントを削除またはアンインストールすると、ウイルスバスター Corp.サーバですべてのウイルスバスター Corp.クライアントがデータベースから削除される問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップ
デートされ、2 つのチェックポイントが追加されて、この問題が修正されます。

(TT356698)

機能 1:

[クライアント]→[グローバルクライアント設定] 画面の [挙動監視設定] セク
ションにある [HTTP またはメールアプリケーションを介してダウンロードされた
新たなプログラムを監視する (サーバプラットフォームは除外)] 機能の除外設定
を追加できるようになります。

手順:

上記の機能によるチェックを受けずに実行するプログラムを指定するには、次の手
順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに「MKWL」キーを追加し、プログラムのフルパス
の暗号化文字列を指定します。

[Global Setting]

MKWL=

注意: プログラムのフルパスの暗号化文字列は、当社のエンジニアにより提供
されます。

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバル
クライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスターCorp.クライアントプログラムによって、次のレジストリ
キーが自動的に設定されます。

キー名: 64 ビットプラットフォームの場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc.

32 ビットプラットフォームの場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥

CurrentVersion¥Misc.

名前: MKWL

種類: String

データ:

~~~~~

(TT357554)

機能 2:

情報漏えい対策オプションで、Google Chrome の次のバージョンがサポートされるようになります。

- 54.0.2840.99

- 55.0.2883.75

~~~~~

(TT344921)

機能 3:

情報漏えい対策オプションの Web メールチャネルで、メールチャネルの除外設定を共有できるようになります。

手順 3:

情報漏えい対策オプションの「apply_email_wblist_to_webmail」を設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウィルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥Private」フォルダにある「dlp.ini」ファイルを開きます。
3. [Configure] セクションに、「apply_email_wblist_to_webmail」キーを追加して値を「true」に設定します。

[Configure]
apply_email_wblist_to_webmail = true
4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウィルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[クライアント管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[情報漏えい対策設定] の順にクリックします。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のキーが、
「Windows¥System32¥dgagent」フォルダ内の「dsa.pro」ファイルに追加され
ます。

```
apply_email_wblist_to_webmail=true
```

7. すべてのウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

~~~~~

(TT344921)

機能 4:

情報漏えい対策オプションで、中国の成都銀行向けのアドオンがインストールさ  
れた IBM Domino Web Access がサポートされるようになります。

手順 4:

情報漏えい対策オプションの「inet\_enhanced\_dwa\_parser」を設定するには、次の  
手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の  
「PCCSRV¥Private」フォルダにある「dlp.ini」ファイルを開きます。
3. [Configure] セクションに、「inet\_enhanced\_dwa\_parser」キーを追加して値  
を「true」に設定します。

[Configure]

```
inet_enhanced_dwa_parser = true
```

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[クライアン  
ト管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[情報漏えい対策設  
定] の順にクリックします。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のキーが、  
「Windows¥System32¥dgagent」フォルダ内の「dsa.pro」ファイルに追加されます。

```
inet_enhanced_dwa_parser=true
```

7. すべてのウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

[HotFix\_6263] (TT-357949,357004,357915,357769,358146,356728,356873)

[HotFix\_6281] (TT-357949,357004,357915,357769,358146,356728,356873)

(TT357949)

問題 1: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6263 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed ▲

ウイルスバスター Corp.サーバが Windows サーバの Active Directory 情報と同期した後に、Microsoft Windows Active Directory ドメインで定義されたルールを使用しているクライアントの自動グループ設定で、有効なグループ設定ルールに「警告」ステータスを示すアイコンが表示されることがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、有効なグループ設定ルールが、同期された Active Directory 情報の影響を受けないようになります。

~~~~~

(TT357915)

問題 2: ▲Past_XGPatch1 (EN: HotFix_6263 / JP: n/a) /

11SP1_AcmHF2 (EN: HotFix_6281 / JP: n/a) Reviewed ▲

Web コンソールを開き、[クライアント]→[クライアント管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[検索設定]→[ScanNow 設定] の順にクリックし、[ScanNow 設定] 画面の [検索除外] タブにある [検索除外リスト (ファイル)] の値を空にしていた場合、[検索除外リストのエクスポート] ボタンをクリックすると、エクスポートした CSV ファイルに [検索除外] タブの [検索除外リスト (ファイル拡張子)] で指定した拡張子ではなく「該当なし」と表示される問題

この問題は、[ScanNow 設定] 画面の設定でのみ発生していました。

手順 2:

[検索除外リストのエクスポート] ボタンを表示するには、次の手順に従ってください。

1. Microsoft 管理コンソール (MMC) を開き、OfficeScan Master Service を停止します。
2. Windows エクスプローラで「C:¥Program Files¥Trend Micro¥Officescan¥PCCSRV¥Private」フォルダに移動します。
3. 「ofcserver.ini」ファイルのバックアップコピーを作成します。
4. メモ帳などのテキストエディタを使用して、「..¥Private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。

5. [INI_SERVER_SECTION] セクションに、次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

```
[INI_SERVER_SECTION]
EnableExportExclusionInformation=1
EnableDisplayClientExclusionInformation=1
EnableDisplayManualScanExclusionSetting=1
EnableDisplayRealTimeScanExclusionSetting=1
EnableDisplayScheduledScanExclusionSetting=1
EnableDisplayScanNowExclusionSetting=1
```

6. Microsoft 管理コンソール (MMC) で、OfficeScan Master Service を開始します。

7. ウイルスバスター Corp. Web コンソールにログインします。

8. [クライアント]→[クライアント管理] の順に選択します。
[検索除外リストのエクスポート] ボタンが表示されます。

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバプログラムがアップデートされ、正しい情報が CSV ファイルに出力されるようになります。

~~~~~  
(TT357769)

問題 3: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6263 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの操作中に、暗号化されたアカウント  
パスワードが漏えいする可能性がある問題

この問題に起因して、ウイルスバスター Corp. Web コンソールが権限のない  
ユーザによりログインされる可能性があります。

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT358146)

問題 4: ▲Past_XGPatch1 (EN: HotFix_6263 / JP: n/a) /

11SP1_AcmHF2 (EN: HotFix_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

初期設定のブラウザを Chrome に設定して他のアプリケーションからハイパーリンク
をクリックすると、Chrome の画面に「try to access to an unexpected site
"--disable- quic"」というメッセージが表示される問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT356728)

問題 5: ▲Past\_11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6263 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

情報漏えい対策オプションにより Exodus Jabber アプリケーションが予期せずブロックされる問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、エンドポイントコンピュータで情報漏えい対策が有効な場合でも、Exodus Jabber が正常に動作するようになります。

(TT356873)

機能: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6263 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

「SvrSvcSetup.exe」ツールを使用して、Microsoft Internet Information Services (IIS) サーバまたは Apache HTTP サーバにインストールされたウイルスバスター Corp. Web サイトに対し、SHA-256 署名アルゴリズムと 2048 ビット公開鍵で SSL 証明書を生成できるようになります。

手順:

SHA-256 署名アルゴリズムと 2048 ビット公開鍵で SSL 証明書を生成し、IIS の SSL 証明書を手動で更新するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. 管理者としてログオンし、コマンドプロンプトを開いて「PCCSRV」ディレクトリに移動します。
3. 次のコマンドを実行します。

SvrSvcSetup.exe -GenIISCert

新しい SSL 証明書が生成され、IIS の SSL 証明書ストアに自動的に追加されます。

4. IIS マネージャー (inetmgr.exe) を開きます。
5. ウィルスバスター Corp. Web サイトを右クリックして [バインドの編集...] をクリックします。
6. [サイト バインド] 画面が表示されたら、[種類] で「https」を選択し、[編集...] をクリックします。

7. 新しく作成された SSL 証明書を選択して、[OK] をクリックします。

注意: 2048 ビットの公開鍵を表示するには、[参照...] オプションをクリックします。

8. [閉じる] をクリックします。

SHA-256 署名アルゴリズムと 2048 ビット公開鍵で SSL 証明書を生成し、Apache の SSL 証明書を手動で更新するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。

2. 管理者としてログオンし、コマンドプロンプトを開いて「PCCSRV」ディレクトリに移動します。

3. 次のコマンドを実行します。

```
SvrSvcSetup.exe -GenApacheCert
```

新しい SSL 証明書が生成され、Apache の SSL 証明書ストアに自動的に追加されます。

4. 次のサービスを停止します。

- OfficeScan Master Service
- Apache Service

5. 次のサービスを開始します。

- Apache Service
- OfficeScan Master Service

[HotFix\_6263.1] (TT-348161)

#### 問題:

ウイルスバスター Corp.のファイアウォールで、関連する実行可能イメージのハッシュの確認に時間がかかり、Qastor アプリケーションからサーバへの接続がタイムアウトしてアプリケーションエラーが発生する問題

#### 修正:

本 Service Pack の適用後は、ファイアウォールモジュールがアップデートされ、接続を開始した実行可能イメージのハッシュ値が非同期で計算されるようになります。ハッシュ値の計算が終了するまでアプリケーションフィルタのすべてのルールは利用できなくなり、アプリケーションの接続がブロックされないようになります。

手順:

この修正をグローバルに適用および配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールし、新しいファイアウォールモジュールがクライアントに配信されるまで待ちます。
2. クライアントコンピュータを再起動します。
3. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
4. [Global Setting] セクションに「AsyncHash」キーと「ALEPend」キーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]

AsyncHash=1

ALEPend=1

5. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
6. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
7. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥NSC¥PFW

名前: AsyncHash

種類: REG\_DWORD

データ: 1

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥tmWfp¥Parameters

名前: ALEPend

種類: REG\_DWORD

データ: 1

[HotFix\_6267] (TT-358436,357701,354253)

[HotFix\_6281] (TT-358436,357701,354253)

(TT358436)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.で Trend Micro Control Manager サーバから不審オブジェ

クトリストを同期すると、期限切れの不審オブジェクトも検出され、この不審オブジェクトを含むすべての検出されたオブジェクトに対して指定された処理が適用される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.のプログラムがアップデートされ、期限切れの不審オブジェクトは検出されなくなります。

~~~~~

(TT357701)

問題 2: ▲Past_XGPatch1 (EN: HotFix_6267 / JP: n/a) /

11SP1_AcmHF2 (EN: HotFix_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

ドメインに多数のウイルスバスター Corp.クライアントが存在すると、すべてのクライアントがウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント管理] 画面に表示されないことがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアント情報を含む SQL テーブルのメカニズムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT354253)

問題 3: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6267 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 の挙動監視機能により、ブロック処理を検出ログに記録することなく正当なプログラムがブロックされることがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.の挙動監視のプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6271] (TT-354682,356152,357370,358458)

[HotFix\_6281] (TT-354682,356152,357370,358458)

(TT354682)

問題 1: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6271 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

32 ビットプラットフォームで、挙動監視機能によって表示される検出情報のポップアップダイアログボックスで [今回のみ許可] ボタンをクリックしても、アプリケーションがブロックされる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT356152)

問題 2: ▲Past_XGPatch1 (EN: HotFix_6271 / JP: n/a) /

11SP1_AcmHF2 (EN: HotFix_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

プロセス検査で使用するユーザモードフック (UMH) 機能により「java.exe」
プログラムが正常に動作しない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、「java.exe」がユーザモードフック (UMH) の許可リ
ストパターンファイルに追加され、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT357370)

問題 3: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6271 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

プロセス検査で使用するユーザモードフック (UMH) 機能により WebISO ソフト  
ウェアが正常に動作しない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、WebISO ソフトウェアがユーザモードフック (UMH) の  
許可リストパターンファイルに追加され、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT358458)

問題 4:

接続の問題に起因して、URL フィルタエンジンによって評価できなかった Web サイ
トにアクセスできてしまうことがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.を設定し、URL フィルタエン
ジンにより評価できなかった Web サイトへのアクセスを自動的にブロックできるようになります。

手順 4:

URL フィルタエンジンにより評価できなかった Web サイトへのアクセスを自動的に
ブロックするようにウイルスバスター Corp.を設定するには、次の手順に従ってく
ださい。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. テキストエディタを使用して、ウイルスバスター Corp.サーバのインストール
フォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]
URLFilterErrMode=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥NSC¥TmProxy¥Scan¥Common¥URLFilter¥config

名前: ErrMode

種類: dword

データ: 1

Microsoft Windows 7/8/10 および Windows Server 2008 R2/2012/2016 の場合:

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥Osprey¥Scan¥Common¥URLFilter¥config

名前: ErrMode

種類: dword

データ: 1

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

[HotFix_6274] (TT-349044,358714,359007,358753,359384,356199)

[HotFix_6281] (TT-349044,358714,359007,358753,359384,356199)

(TT349044)

問題 1: ▲Past_XGPatch1 (EN: HotFix_5068 / JP: n/a) /

11SP1_AcmHF2 (EN: HotFix_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

ウイルスバスター Corp. Web コンソールに表示されるウイルス/不正プログラムの検出情報が、Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) コンソールに表示される情報と一致しない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバにより正しいウイルス/不正プログラム情報が Control Manager に送信されるようになり、この問題が修正されます。

手順 1:

Control Manager に正確な情報を送信するようにウイルスバスター Corp.サーバを設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥CmAgent」フォルダにある「Product.ini」ファイルをテキストエディタで開きます。
3. [Configure] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

[Configure]
EnableSFCacheTimeout=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. OfficeScan Control Manager Agent を再起動します。

~~~~~  
(TT358714)

問題 2: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6274 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント]→[クライアント管理] 画面で [詳細検索] をクリックし、[アップデートエージェント] のステータスに [無効] を指定してウイルスバスター Corp.クライアントを検索すると、アップデートエージェントのステータスが [無効] のクライアントだけでなく、[有効] のクライアントも検索結果に表示される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT359007)

問題 3:

システムの起動時、ウイルスバスター Corp.クライアントから「ウイルス対策の状態」が Windows セキュリティセンター (WSC) に送信されるが、再起動後、WSC にウイルスバスター Corp.が無効と表示される問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT358753)

問題 4: ▲Past\_XGPatch1 (EN: HotFix\_6274 / JP: n/a) /



11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

ウイルスバスター Corp.クライアントで証明書の不一致エラーが発生すると、OfficeScan NT Listener (TmListen.exe) が予期せず停止し、クライアントのアップデートに失敗することがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムがアップデートされ、証明書の不一致エラーが適切に処理されるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT359384)

問題 5: ▲Past_XGPatch1 (EN: HotFix_6274 / JP: n/a) /

11SP1_AcmHF2 (EN: HotFix_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

Outlook.office.com や Outlook.live.com などの最新の Web メールサイトへのアクセスに Google Chrome を使用すると、これらの Web メールサイトからのファイルのドラッグアンドドロップが情報漏えい対策オプションでブロックされない問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、ファイルのドラッグアンドドロップが情報漏えい対策オプションでブロックされるようになります。

~~~~~  
(TT356199)

機能: ▲Past\_11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) /

11SP1\_AcmHF2 (EN: HotFix\_6281 / JP: n/a) Reviewed▲

情報漏えい対策オプションモジュールで、バージョン 55.0.2883.87 の Google Chrome Web ブラウザおよびバージョン 50.1.0 の Mozilla Firefox Web ブラウザがサポートされるようになります。

[HotFix\_6277] (TT-354730,358776)

機能:

ウイルスバスター Corp.サーバの機能が強化され、ウイルスバスター Corp.のユーザアカウントに Active Directory のサブグループを使用できるようになります。

手順:

この新しいサービスの設定を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥Private」フォルダにある「ofcserver.ini」ファイルを開きます。

3. [INI\_AD\_INTEGRATION\_SECTION] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

```
[INI_AD_INTEGRATION_SECTION]
RBAMultilayerInheritanceForADUser=1
```

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。

[HotFix\_6281] (TT-359424,355684,358910,355833,356731)

(TT359424)

問題 1:

HotFix ビルド 6263、6267、6271、6274 のいずれかを適用後、ウイルスバスター Corp.クライアントコンソールおよびサーバの Web コンソールでファイアウォール ログに文字化けが発生する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.のファイアウォールモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT355684)

問題 2:

ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 Critical Patch (ビルド 6077) では、エンドポイント上の Sesame Mobile アプリケーションを使用できない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、「Aclayer.dll」ファイルが存在する場合にユーザーモードフック (UMH) で「ZWProtectVirtualMemory」API がフックされなくなります。

~~~~~

(TT358910)

問題 3:

ファイルサイズが最大値を超えている場合でも、情報漏えい対策オプションで ZIP アーカイブ内のサイズの大きいファイルがブロックされない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT358910)

問題 4:

Microsoft Access (.mdb) ファイルを情報漏えい対策オプションのバックアップフォルダから USB ストレージに復元できない問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT355833)

問題 5:

デバイスリストツール (ListDeviceInfo.exe) で「LaCie Rugged THB USB3 SCSI  
Disk Device」などの外部デバイスの情報を取得できない問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT356731)

問題 6:

トレンドマイクロのブラウザ脆弱性対策 (BEP) のアドインと Bromium vSentry を組
み合わせて使用する場合、ブラウザ脆弱性対策機能を有効にすると、Microsoft
Internet Explorer 11 がクラッシュする問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6281.1] (TT-357771)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントの挙動監視モジュールに関する問題により、
OS が応答を停止することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[CP_6285] (TT-359321)

問題:

ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 Patch 1 の適用後、ウイルス
バスター Corp.のスマートスキャンパターンファイルをアップデートできない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、アップデートモジュールがアップデートされ、この問
題が修正されます。

[HotFix_6292] (TT-358489,359534,356903)

[HotFix_6396] (TT-355701)

(TT358489)

問題 1:

管理者権限を使用し、[管理者として実行] を選択してプログラムを起動すると、
ウイルスバスター Corp.の挙動監視機能でデバイスの種類を正しく取得できない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT359534) / (TT-355701)

問題 2:

Trend Micro Control Manager エージェントの初期設定処理に問題があり、  
OfficeScan Control Manager Agent サービスが予期せず終了することがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT356903)

問題 3:

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムの挙動監視モジュールに関する問
題により、OS が応答を停止することがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

(TT360032)

機能 1:

情報漏えい対策オプションで、次の Google Chrome のバージョンがサポートされる
ようになります。

- Google Chrome 55.0.2883.87

- Google Chrome 56.0.2924.87

~~~~~

(TT357707)

機能 2:

DLL インジェクションに対する情報漏えい対策オプションのアドレス空間配置の  
ランダム化 (ASLR) が有効になります。

[HotFix\_6299] (TT-359331,359477,357853,360097,357054,359521,359522)

[HotFix\_6396] (TT-357054)

(TT359477)

問題 1:

ユーザモードフック (UMH) 機能に起因して「mkdir.exe」プログラムが予期せず停止することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT357853)

問題 2:

ランサムウェア対策の「不正な暗号化や変更から文書を保護」機能が有効なウイルスバスター Corp.クライアントで、ファイルサイズが大きいプログラムが実行されないことがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT360097)

問題 3:

ウイルスバスター Corp.サーバのパフォーマンスを最適化する Server Tuner tool で、[Maximum Client Connections] の設定が機能しない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT357054)

問題 4:

HotFix がアップデートされると、不要なクライアント通知が大量に発生する問題

この問題は、ウイルスバスター Corp.サーバがすべてのウイルスバスター Corp.クライアントのコンポーネントを確認する際に、[ウイルスバスター Corp.クライアントにコンポーネントのアップデートを許可するが、クライアントプログラムのバージョンアップと HotFix の配信を禁止] オプションの設定にかかわらず、HotFix のバージョンが古いすべてのクライアントにアップデートを適用するよう通知することに起因します。

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、このオプションが有効なクライアントには、HotFix のアップデートについてウイルスバスター Corp.サーバから通知が送信されないよう

になり、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT359331)

問題 5:

[MeerkatSkipUNC] オプションが有効な場合に挙動監視プログラム (TMBMSRV.exe) がクラッシュする問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視プログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT359521)

問題 6:

SMB フォルダから内部 Web サイトにファイルをアップロードする際、iDLP が有効であると、アップロードが断続的に中断されることがある問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT357721)

問題 7:

サードパーティ製アプリケーション Dymola のライブラリライセンスのプログラムが情報漏えい対策と競合する問題

修正 7:

本 Service Pack の適用後は、「dymola.exe」と「license\_check.exe」が承認済みリストに追加され、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT359522)

問題 8:

ウイルスバスター Corp.サーバが Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) から受信したポリシーの内容を解析する際、ポリシー内の一部の空白文字が削除されることがあり、このポリシーがウイルスバスター Corp.サーバに適用されるときに設定が変更されることがある問題

修正 8:

本 Service Pack の適用後は、Control Manager のポリシーが正しく解析され、適用されるようになります。

[HotFix_6302] (SEG-1587,SEG-1781,SEG-2639)

(SEG-1587)

問題 1:

[メモリから検出された不正プログラムの変種を隔離] オプションを有効にしない
とウイルスバスター Corp.クライアントでメモリ検査パターンファイル (MIP) を
アップデートできない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムが
アップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-1781)

問題 2:

「ofcserver.ini」ファイルの「SourceUUID」設定の値が上書きされ、不審オブ  
ジェクトリストをアップデートできないことがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、「SourceUUID」設定が予期せず上書きされることはなくなります。

~~~~~

(SEG-2639)

問題 3:

例外エラーが発生した場合に、システムダンプファイルが作成されないことがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、例外システムコードが検出されるようになり、対応す
るシステムダンプファイルが作成されるようになります。

[HotFix_6306] (TT-359200,SEG-2785)

[HotFix_6317] (SEG-3533)

(TT359200)

問題 1:

デバッグログを有効にすると、不正変更防止サービス (TMBMSRV.exe) プロセスが
応答を停止する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、デバッグログの出力機能が正しい情報を受信するよう
になり、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-2785) / (SEG-3533)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.クライアントの挙動監視モジュールと暗号化ソフトウェア  
を同時に実行すると、ブルースクリーン (BSOD) が発生する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

#### [HotFix\_6308] (SEG-1474)

(SEG-1474)

##### 問題 1:

ウイルス対策クライアントの接続状態ウィジェットで、各 Smart Protection Server に接続されているクライアントの [合計] 列に誤った数値が表示される問題

##### 修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

#### [HotFix\_6310] (SEG-3508)

(SEG-3508)

##### 機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントの GUID が重複している際にウイルスバスター Corp.クライアントに自動的に送信される GUID の変更を求める通知を、ウイルスバスター Corp.サーバが送信できなかった場合に、イベントログを生成できるようになります。

##### 手順:

GUID の変更を求める通知を送信できなかった場合に、ウイルスバスター Corp.サーバでイベントログを生成できるようにするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルをテキストエディタで開きます。
3. [INI\_SERVER\_SECTION] セクションで、次のキーを探して値を「1」に設定します。

```
[INI_SERVER_SECTION]  
Event_Log_Flag=1
```

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. OfficeScan Master Service を再起動します。

#### [HotFix\_6313] (SEG-1442,SEG-2354,SEG-3487,SEG-3616)

(SEG-2354)



問題 1:

ファイアウォールの除外ルールに単一 IP アドレスを設定すると、設定した IP アドレスがウイルスバスター Corp.クライアントコンソールの [除外ルール] 画面にある [IP アドレス] に表示されない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-3487)

問題 2:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールで検索除外リストのエクスポートに時間がかかる問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-1442)

問題 3:

「tmeventmgr.sys」に起因して、Microsoft Windows セキュリティ監査による [失敗の監査] が Windows システムイベントログに表示される問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールドライバでビルドオプションを使用することで「パスのハッシュ」が含まれるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-3616)

問題 4:

有効なデジタル署名のないファイルをウイルスバスター Corp.クライアントでダウンロードすると、ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [システムイベントログ] 画面で、対応するイベントログに不完全なファイルパス情報が表示される問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6314] (SEG-2660)

(SEG-2660)

問題:

ウイルスバスター Corp. 11.0 Service Pack 1 に HotFix を適用し、Windows XP を実行しているクライアントでウイルスバスター Corp.ファイアウォールを有効にすると、ファイアウォールサービスでネットワーク接続エラーが発生する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.ファイアウォールがアップデートされ、この問題が修正されます。

注意: ウイルスバスター Corp.クライアントのファイアウォールモジュールをアップデートするには、エンドポイントを再起動してください。

[HotFix_6315] (TT-350467)

[RU_HotFix_6334] (SEG-1989,SEG-4705,SEG-4671)

機能:

[挙動監視設定] 画面の [除外] で承認済みリストにプログラムを追加する際、パスとファイル名にワイルドカード文字としてアスタリスク (*) および疑問符 (?) を使用できるようになります。

[CP_6325] (VRTS-283,VRTS-393,VRTS-615)

(VRTS-283)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムの Web レピュテーションサービスによって Web ページへのアクセスがブロックされる際、[ウイルスバスター Corp.によって Web サイトがブロックされました] という警告画面が表示されますが、この警告画面がクロスサイトスクリプティング (XSS) の脆弱性の影響を受ける可能性がある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(VRTS-393)

問題 2:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの操作中に、暗号化されたアカウントパスワードが漏えいする可能性がある問題

この問題に起因して、ウイルスバスター Corp. Web コンソールが権限のないユーザによりログインされる可能性があります。

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

(VRTS-615)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントのセルフプロテクション機能がアップデートされ、攻撃からの保護が強化されます。

[HotFix\_6325] (TT-359608,SEG-1715,SEG-2673,SEG-3289)

(SEG-1715)

問題 1:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント]→[クライアント管理]  
→[設定]→[検索設定]→[リアルタイム検索設定] 画面の [メモリから検出された  
不正プログラムの変種を隔離] オプションが有効な場合、Windows の仮想ディスク  
サービス (VDS) の起動に時間がかかる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、一部の仮想ハードディスクをスキップするように上記  
のオプションを設定できるようになり、仮想ディスクサービスが正常に起動するようになります。

手順 1:

一部の仮想ハードディスクをスキップするように上記オプションを設定するには、  
次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. レジストリエディタを開きます。
3. 次のキーを追加します。

キー名: [HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥  
services¥tmactmon¥Parameters]

名前: SkipVirtualHarddisk

種類: dword

データ: 1

4. ウイルスバスター Corp.クライアントコンピュータを再起動します。

~~~~~

(SEG-2673)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.クライアントがインストールされたコンピュータの以下の
レジストリキーで値が最大値 (0x7fffffff) を超えた場合、PccNT.exe が予期せず停止する問題

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc.

名前: TotalScanned

種類: dword

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのファイル「fcWofieUI.dll」(32 ビット版) および「fcWofieUI_64x.dll」(64 ビット版) がアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT359608)

問題 3:

[管理]→[設定]→[不審オブジェクトリスト]→[不審オブジェクトリスト設定]  
画面で [不審 URL リストを有効にする] オプションが無効な場合に、手動同期を実行できない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-3289)

問題 4:

POP3 および SMTP 検索のエラー処理メカニズムが「.tmp」ファイルへのアクセスを試行することに起因して、TmListen サービスが予期せず停止することがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、エラー処理メカニズムのアクセス対象が有効なローカルファイルパスのみに限定され、この問題が修正されます。

[JP_HotFix_6325.1] (SEG-3487)

(SEG-3487)

問題:

不正な内容を含むメールメッセージの検出時に送信される POP3 メール通知で、文字化けが生じる問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、POP3 メール通知のテキストのエンコード方式が「西ヨーロッパ言語」から「日本語 (Shift-JIS)」に変更され、この問題が修正されます。

手順:

POP3 メール通知のテキストのエンコード方式を変更するために、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「¥PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。

3. [Global Setting] セクションに「OspreyDisclaimerCharset」キーを追加し、値を「Shift_JIS」に設定します。

[Global Setting]

OspreyDisclaimerCharset=Shift_JIS

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に変更されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥Osprey¥Scan¥Common
¥MailManager¥config
名前: DisclaimerCharset
種類: REG_SZ
データ: Shift_JIS

[HotFix_6331] (TT-358992,SEG-1891)

(TT358992)

問題 1:

以下の手順で [詳細検索] リンクをクリックしても、[詳細検索] 画面が表示されない問題

1. ウイルスバスター Corp.Web コンソールで [クライアント]→[ファイアウォール]→[プロファイル] の順に選択し、[ファイアウォールプロファイル] 画面でプロファイルを選択します。
2. [プロファイルの編集] 画面の [エンドポイント] の横のチェックボックスをオンにして、[クライアントツリーからエンドポイントを選択] をクリックします。
3. [ファイアウォールプロファイルの設定] 画面の [詳細検索] リンクをクリックします。

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-1891)

問題 2:

他のプログラムがファイルをインターネットにアップロードしている間、情報漏えい対策オプションモジュールが正常に動作しなくなることがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6332] (TT-355401,356199,354983,356408,353933,355208)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントにより保護されているコンピュータで情報漏えい対策機能を有効にすると、AutoCAD が予期せず終了する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、AutoCAD が承認済みリストに追加され、この問題が修正されます。

問題 2:

Windows 7 または Windows 10 プラットフォームで情報漏えい対策を有効にすると、Boot2Docker が起動しない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

問題 3:

ユーザが読み取りアクセス権限のみを持つ USB ストレージデバイスのファイルを削除できる問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、適切な権限を持つユーザのみが USB ストレージデバイスのファイルを削除できるようになります。

[HotFix\_6342] (SEG-3345,SEG-2468,SEG-3919,SEG-2232)

(SEG-3345)

問題 1:

メールメッセージからダウンロードしたプログラムまたは HTTP を介してダウンロードしたプログラムが承認済みリストに追加済みであっても、ウイルスバスター Corp.クライアントによりブロックされる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-2468)

問題 2:

多数の DB 関連のコマンドに起因して、ウイルスバスター Corp. Web コンソールの
ロードに通常よりも時間がかかる問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、DB 関連のコマンドの数が最小限にとどめられるように
なり、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-3919)

問題 3:

デバッグログを有効にしている場合、[保存] ボタンを 2 回クリックすることによ  
り「ofcdebug.ini」ファイルに記載されたデバッグログファイルのパスが変更される問題

この問題に起因して、デバッグログが指定以外の場所に保存されることがあります。

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、Web コンソールでログのファイル名のみ設定されてい  
る場合は、常に初期設定のログのパスが使用されるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-2232)

問題 4:

機密情報を含む PDF ファイルを Adobe Reader で印刷しようとすると、情報漏えい対
策ログが重複して生成される問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6348] (SEG-3931,SEG-5361,SEG-5633)

(SEG-3931)

問題:

報漏えい対策により「outlook.com」でのメールメッセージを介した機密情報の送
信が検出されると、ウイルスバスター Corp.クライアントで空の「アクティ
ティ/チャネル」ログが生成される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントがアップデ
ートされ、この問題が修正されます。

(SEG-5361)

機能 1:

情報漏えい対策オプションで、バージョン 58.0.3029.81 の Google Chrome がサポートされるようになります。

~~~~~

(SEG-5633)

機能 2:

仮想ディスクの検索をスキップするようにウイルスバスター Corp.クライアントの挙動監視モジュールを設定できるようになります。

手順 2:

仮想ディスクの検索をスキップするように挙動監視モジュールを設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]

SkipVirtualHarddisk=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥tmactmon¥

Parameters

名前: SkipVirtualHarddisk

種類: DWORD

データ: 1

[HotFix\_6350] (SEG-5041)

(SEG-5041)



問題:

Windows Server 2012 R2 にインストールされている登録済みウイルスバスター Corp.サーバの OS のバージョンが、Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) の管理コンソールに「6.3 (Build 9600)」ではなく、「6.2 (Build 9200)」と表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、Control Manager サーバに「6.3 (Build 9600)」で登録されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_6351] (SEG-6181)

(SEG-6181)

問題:

情報漏えい対策オプションを実行しているウイルスバスター Corp.クライアントから共有 (SMB) フォルダのファイルにアクセスすると、ブルースクリーン (BSOD) が発生することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[CP\_6355CP\_6367(L10n)] (SEG-6313)

[HotFix\_6390] (SEG-7214)

(SEG-6313)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムで、Windows 10 Creators Update (RS2) がサポートされるようになります。

問題:

共通モジュール (tmcomm.sys) がデバイスツリーで Windows カーネルデバイスのサービス名リストを解析しようとすると、ブルースクリーン (BSOD) が発生することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントの共通モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6369] (TT-360007)

(TT-360007)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントと Symantec Data Loss Prevention アプリ

ケーションが同じエンドポイントで実行されている場合、Web レピュテーション機能が Web サイトへの通常のアクセスをブロックする問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントモジュールがアップデートされ、Web レピュテーション機能が Symantec Data Loss Prevention アプリケーションと競合しないようになります。

[HotFix\_6370(control release)] (SEG-1689)

(SEG-1689)

機能:

ウイルスバスター Corp.サーバでクライアントネットワーク隔離機能が実行されたとき、確立されている接続をウイルスバスター Corp. クライアントで自動的に切断し、復元するように設定できるようになります。

またウイルスバスター Corp.クライアントを、ネットワーク隔離を適用するよう定義されたドメインに移動させることができます。

手順:

このサービスを有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次の 3 つのキーを追加して、適切な値を設定します。

[Global Setting]

PFWPolicyWithConnectionReset=x

PFWPolicyWithConnectionResetDomainList=y

PFWPolicyWithConnectionResetDurationInSec=z

各要素の説明は次のとおりです。

"x" = 0: ネットワーク隔離をサポートしません。

= 1: ネットワーク隔離をサポートします。

"y" = ドメイン名

例: Workgroup、Domain1

ネットワーク隔離を使用するドメイン名またはドメインリストを指定します。

"z" = 0: (初期設定) 接続のリセットを無効にします。

30: 30 秒以内に接続をリセットします。

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc

名前: PFWPolicyWithConnectionReset

種類: dword

データ: 0: ネットワーク隔離をサポートしません。

1: ネットワーク隔離をサポートします。

名前: PFWPolicyWithConnectionResetDomainList

種類: String

データ: ドメイン名 (ユーザにより設定)

例: Workgroup、Domain1

名前: PFWPolicyWithConnectionResetDurationInSec

種類: dword

データ: 0: 接続のリセットを無効にします。

30: 30 秒以内に接続をリセットします。

注意: ウイルスバスター Corp.クライアントのファイアウォールモジュールをアップデートするには、エンドポイントを再起動します。

[HotFix\_6371] (SEG-4799)

(SEG-4799)

問題:

Trend Micro Endpoint Application Control (TMEAC) がインストールされている場合、挙動監視機能により一部のコンピュータが断続的にロックされることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6373] (SEG-5477)

(SEG-5477)

問題:

新しい HotFix ファイルを適用しても、ウイルスバスター Corp.クライアントが正常にアップグレードされない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6380] (VRTS-693)

(VRTS-693)

問題:

ウイルスバスターCorp. のプラグインである Trend Micro Toolbox サービスが、引用符で囲まれていない Windows サービスパスの脆弱性の影響を受ける問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、サービスが再インストールされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_6383] (TT-359895,SEG-6323,SEG-6391,SEG-6528,SEG-7273)

(TT359895)

問題 1:

Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) のポリシー設定に ASCII 以外の文字が含まれている場合、ウイルスバスター Corp.サーバでそのポリシーの署名を確認できない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバで Control Manager のポリシーに含まれる ASCII 以外の文字列を処理できるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-6323)

問題 2:

OfficeScan NT RealTime Scan (NTRtScan.exe) を有効にすると、ウイルスバスター Corp.クライアントがフリーズする問題

この問題は、一部の CPU タイプではサポートされていない AES-NI 命令セットを OpenSSL が使用するために発生していました。

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、OpenSSL コンポーネントがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-6391)

問題 3:

Microsoft Internet Explorer ブラウザで全角文字が正しく処理されないことに起因して、ウイルスバスター Corp.サーバの Web コンソールでユーザアカウントが正しく表示されない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、全角文字が含まれているかを判断する機能が追加され、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-6528)

問題 4:

不正変更防止サービス (TMBMSRV.exe) を有効にすると、ウイルスバスター Corp. クライアントコンソール (Pccnt.exe) が予期せず停止し、エンドポイントのパフォーマンスに影響することがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-7273)

問題 5:

Microsoft Windows 10 プラットフォームのコンピュータで、情報漏えい対策 (DLP) ネットワークフィルタドライバが、転送ドライバインタフェース (TDI) ネットワークフィルタドライバとともにインストールされる問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、OS のバージョンを判断するメカニズムがアップデートされ、正しいドライバがインストールされるようになります。また、TDI ドライバを正しいドライバに置き換える、Microsoft Windows フィルタリングプラットフォーム (WFP) ドライバの置換メカニズムも提供されます。

[CP\_6392] (VRTS-337,VRTS-339,VRTS-972)

(VRTS-337, VRTS-339)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.サーバが、リモートでコードを実行される脆弱性 (RCE) の影響を受ける問題

この問題に起因して、悪意あるユーザにより文字列変数のクエリを使用してコマンドが実行される可能性があります。

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(VRTS-972)

問題 2:

サードパーティ製 AmMap アプリケーションが、複数のクロスサイトスクリプティング (XSS) の脆弱性の影響を受ける問題

この問題に起因して、悪意あるユーザによりリモートで任意の Web サイトまたは HTML スクリプトが挿入される可能性があります

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_6396] (TT-354095,358532,SEG-2143,SEG-2745,SEG-7541,SEG-7585, SEG-6421,SEG-8356,SEG-7747,SEG-9011)

(SEG-7541)

問題 1:

Microsoft Windows 10 プラットフォームに Microsoft Windows Defender およびウイルスバスター Corp.クライアントの両方がインストールされており同時に稼働している場合、エンドポイントがフリーズしたり応答しなくなる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、互換性のサポートがアップデートされ Microsoft Windows Defender を無効にすることにより、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-7585)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.サーバとウイルスバスター Corp.クライアントが異なるビルドで稼働している場合、ウイルスバスター Corp.クライアントでパターンファイルがアップデートされないことがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-6421)

問題 3:

Microsoft Windows Server 2016 にウイルスバスター Corp.クライアントをインス

ツール後、Microsoft Windows Defender が自動的に無効にならない問題

修正 3:

本 Service Pack 適用後は、Microsoft Windows Server 2016 にウイルスバスター Corp.クライアントをインストールした場合、コンピュータ再起動後に Microsoft Windows Defender が自動的に無効になります。

~~~~~  
(SEG-8356)

問題 4:

Microsoft Windows 10 プラットフォームにおいて、スキャンエンジンのロールバックが失敗することがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントがアップデートされ、Microsoft Windows 10 プラットフォームにおいて、スキャンエンジンのロールバックができるようになります。

~~~~~  
(SEG-7747)

問題 5:

Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager) から大量のポリシー情報を受信しているときに、OfficeScan Master Service (ofcservice.exe) が予期せず停止し、「PCCSRV¥Web¥Service」フォルダに大量のダンプファイルが生成される問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、OfficeScan Master Service で Control Manager からの大量のポリシー情報を処理できるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT-354095)

問題 6:

ウイルスバスター Corp.クライアントコンソールのファイアウォールの設定画面でセキュリティレベルの設定を変更後、ファイアウォールの詳細画面が自動的に更新されない問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT-358532)

問題 7:

ウイルスバスター Corp.の到達不能クライアントが起動済みを表すステータスをウイルスバスター Corp.サーバに送信しても、サーバで対象クライアントのアップデートフラグが自動的に設定されず、サーバでファイル変更イベントが発生するまでクライアントがアップデートを受信できない問題

修正 7:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバが到達不能クライアントから起動済みを表すステータスを受信した場合、対象クライアントのアップデートフラグが自動的に設定されるようになります。

~~~~~

(SEG-2143)

問題 8:

クライアント情報を含むエクスポート済み CSV ファイルで、Windows プラットフォームと Windows Embedded プラットフォームが区別されていない問題

修正 8:

本 Service Pack の適用後は、エクスポート済み CSV ファイルで、クライアントが Windows プラットフォームと Windows Embedded プラットフォームのどちらで実行されているか明記されるようになります。

~~~~~

(SEG-2745)

問題 9:

脆弱性検索ツールが無効なファイルパスへのアクセスを試行することに起因して、ブルースクリーン (BSOD) が発生することがある問題

この問題は、Microsoft Windows Vista またはこれ以降にリリースされたバージョン (Windows Server 2008 など) を実行しているコンピュータで発生します。

修正 9:

本 Service Pack の適用後は、脆弱性検索ツールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-9011)

問題 10:

Schwab アプリケーションがウイルスバスター Corp.クライアントの挙動監視モジュールと競合し、予期せず停止することがある問題

修正 10:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、Schwab アプリケーションが正常に機能するようウイルスバスター Corp.を設定できるようになります。

手順 10:

この修正を配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル



ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。

3. [Global Setting] セクションに、「SkipKernelExceptionEvent」キーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]

SkipKernelExceptionEvent=1

注意：本機能を無効にするには、値を「0」に設定します。

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥AEGIS

名前: SkipKernelExceptionEvent

種類: REG\_DWORD

データ: 1

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

[HotFix\_6396 CP\_6396] (TT-356627)

機能:

ランサムウェアの診断モードが追加され、ランサムウェアの可能性のあるプロセスを終了せずにログを作成できるようになります。

手順:

診断モードを有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定しま

す。

#### [Global Setting]

EnableADCAssessMode=1

データ: 0 : 診断モードはサポートされません。

1 : 診断モードがサポートされます。

EnableADCAssessModeNotification=1。

データ: 0 : タスクトレイアイコンにポップアップ通知が表示されません。

1 : タスクトレイアイコンにポップアップ通知が表示されます。

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥  
CurrentVersion¥AEGIS

名前: EnableADCAssessMode

種類: DWORD

データ: 0 : 診断モードはサポートされません。

1 : 診断モードがサポートされます。

名前: EnableADCAssessModeNotification

種類: DWORD

データ: 0 : タスクトレイアイコンにポップアップ通知が表示されません。

1 : タスクトレイアイコンにポップアップ通知が表示されます。

#### [HotFix\_6404] (VRTS-392,SEG-9560)

(VRTS-392)

問題 1:

情報漏えい対策のファイルシステムドライバに関連する問題により、Web ブラウザで RWX (Read-Write-Execute) の脆弱性が生じることがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-9560)

問題 2:

情報漏えい対策が有効な場合、RDP (リモートデスクトッププロトコル) クリップ
ボードを使用したファイルのコピーに時間がかかる問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、リモートデスクトップ接続 (Mstsc.exe) プロセスが
承認済みリストに追加され、この問題が修正されます。

[HotFix_6410] (SEG-10228,VRTS-1012,VRTS-1022)

(VRTS-1012)

問題 1:

攻撃者がウイルスバスター Corp.の特定のプロセスを使用し、NT ドメインにクエリ
を実行できる脆弱性が存在する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(VRTS-1022)

問題 2:

攻撃者が脆弱性を悪用して CGI リクエストを送信し、ウイルスバスター Corp.サー  
バで特定の EXE ファイルを実行および停止させることができる脆弱性が存在する問  
題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この脆弱性の問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-10228)

問題 3:

Microsoft Windows Server 2016 で、ウイルスバスター Corp.クライアントがイン
ストールされるか、既存のウイルスバスター Corp.クライアントに最新の HotFix が
インストールされた場合、Windows Defender サービスが停止しない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントがインストール
されるか、または最新の HotFix がインストールされた場合、Windows Defender サー
ビスが自動的に停止するようになります。

注意:

本 Service Pack の適用後は、コンピュータの再起動が必要になります。

[HotFix_6415] (SEG-8981)

(SEG-8981)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントで、Smart Protection Network への接続を定期的に確認できるようになります。さらにこの機能の追加により、コンソールのステータスアイコンがアップデートされます。

手順:

ウイルスバスター Corp.サーバでこの機能を有効にし、設定をすべてのクライアントに自動的に配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]

ChkGlobalWCS=1

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥iURL Scan.

名前: ChkGlobalWCS

種類: dword

データ: 1

[HotFix_6421] (SEG-6917,SEG-8988,SEG-10066,SEG-10688,SEG-10651,SEG-11074)

(SEG-10688)

問題 1:

OfficeScan NT Listener サービス (TmListen.exe) が停止している際に、ウイルスバスター Corp.クライアントコンソールで [アップデート] ボタンをクリックすると、「コンポーネントのアップデートが完了しました。」というメッセージが表示される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、OfficeScan NT Listener サービス (TmListen.exe) が停止すると [アップデート] ボタンが自動的に無効になり、ボタンの上にマウスポインタを重ねるとツールチップが表示されるようになります。

~~~~~

(SEG-10651)

問題 2:

新しくインストールしたウイルスバスター Corp.クライアントが一定の時間内にウイルスバスター Corp.サーバに接続できないと、オンラインであることを報告できず、クライアントが Web コンソールに表示されない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、接続タイムアウト時間を延長できるようになり、この問題が修正されます。

手順 2:

この修正を配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して適切な値を設定します。

[Global Setting]

EnableCheckHostLoadHttpTimeoutSecond=1

注意: 本機能を無効にするには、値を「0」に設定します。

LoadHttpTimeoutSecond=30

注意: タイムアウト値には必要に応じて 30、60、90、または 180 秒を設定でき

ます。

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: 64 ビットプラットフォームの場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥  
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion

32 ビットプラットフォームの場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥  
CurrentVersion¥

名前: EnableCheckHostLoadHttpTimeoutSecond

種類: REG\_DWORD

データ: 1

名前: LoadHttpTimeoutSecond

種類: REG\_DWORD

データ: 30

- 7.ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

注意: ウイルスバスター Corp.クライアントがウイルスバスター Corp.サーバから設定を受信しない場合は、クライアントパッケージまたは AutoPCC ユーティリティを使用してウイルスバスター Corp.クライアントをアップデートすることを検討してください。

(SEG-6917)

問題 3:

次の HotFix がウイルスバスター Corp.ファイアウォールモジュールに関連する問題の影響を受け、ファイアウォールサービスでネットワーク接続エラーが発生することがある問題

- HotFix ビルド 6277

- HotFix ビルド 6281
- HotFix ビルド 6292

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.ファイアウォールモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

注意: 本 Service Pack の適用後は、エンドポイントを再起動して、問題が発生しているウイルスバスター Corp.クライアントのファイアウォールモジュールをアップデートする必要があります。

~~~~~

(SEG-11074)

問題 4:

ウイルスバスター Corp.ウイルス対策が有効な場合でも、スパイウェア対策のライセンスがない場合、Windows セキュリティセンターに登録されない問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.ウイルス対策の有効/無効が Windows セキュリティセンターに正しく通知されるようになります。

(SEG-8988)

問題 5:

挙動監視機能によりネットワークドライブ上のフォルダの名前を変更できないことがある問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

手順 5:

この修正を配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、「SkipDfsClient」キーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]
SkipDfsClient=1

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥tmactmon¥Parameters
名前: SkipDfsClient
種類: DWORD
データ: 1

(SEG-10066)

問題 6:

ウイルスバスター Corp.の挙動監視機能に関する問題により、ウイルスバスター Corp.クライアントコンピュータでメモリ使用量が予期せず増加することがある問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[CP_6426 CP_6442] (VRTS-986,VRTS-989,VRTS-1018,VRTS-1052)

(VRTS 986)

問題 1:

HTTP 要求を介してウイルスバスター Corp.サーバから特定のファイルをダウンロードできる脆弱性が存在する問題。

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この脆弱性の問題が修正されます。

~~~~~

(VRTS 989)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.の PHP ファイルが、中間者攻撃 (MITM) およびリモートでコードを実行される脆弱性の影響を受ける可能性がある問題



修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(VRTS 1018)

問題 3:

特定の PHP ファイルが実行されている間、攻撃者が脆弱性を悪用して PHP 情報をクエリできる可能性がある問題。

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、特定の PHP ファイルの情報が保護されるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~

(VRTS 1052)

問題 4:

攻撃者により特定のパラメータに上限を超える文字列が設定され、ウイルスバスター Corp.サーバの EXE プロセスが予期せず停止させられる可能性のある脆弱性が存在する問題。

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6429] (SEG-7697,SEG-10748,SEG-10844,SEG-10980)

(SEG-7697)

問題 1:

OpenSSL 1.0.2 を適用した Windows Server 2003 エンドポイントで、iCRC 共通モジュールが TLS 1.2 を使用して Smart Protection Server と SSL ハンドシェイクを実行できない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、iCRC 共通モジュールがアップデートされ、TLS 1.0 を使用して Smart Protection Server と通信できるように、iCRC 共通モジュールを設定できるようになります。

手順 1:

この修正を配信するには、次の手順に従ってください。

1. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥Pccnt」フォルダにある「ICRCHdler.ini」ファイルを開きます。
2. [Default] セクションに、次のキーを追加して値を「4」に設定します。

[Default]

SSLVersion = 4

3. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
4. 本 Service Pack をインストールします。
5. ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされると、次のキーが、ウイルスバスター Corp.クライアントインストールフォルダ内の「ICRCHdler.ini」ファイルに追加されます。

SSLVersion = 4

(SEG-10748)

問題 2:

無効な文字を含むユーザ名またはパスワードをプロキシ認証に指定した場合に表示されるエラーメッセージに、その原因が明確に示されていない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、指定したユーザ名またはパスワードに無効な文字が含まれていることを示すエラーメッセージが表示されるようになります。

(SEG-10844)

問題 3:

リムーバブルデバイスを接続すると、検索を確認するポップアップダイアログボックスを表示するようにウイルスバスター Corp.クライアントが設定されている場合、次のメッセージが表示される問題

「USB デバイスが接続されました。ウイルスバスター Corp.を使用して、セキュリティリスクの検索を行いますか?」

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ポップアップダイアログボックスがアップデートされ、次のメッセージが表示されるようになります。

「リムーバブルストレージデバイスが接続されました。ウイルスバスター Corp.を使用して、セキュリティリスクの検索を行いますか?」

(SEG-10980)

問題 4:

外部プロキシサーバ用のアカウントとパスワードの設定で、特殊文字「#」を使用できない問題

#### 修正 4:

本 Service Pack の適用後は、jQuery による Ajax 呼び出しの問題が解決され、外部プロキシサーバ用のアカウントとパスワードの設定で特殊文字を使用できるようになります。

[HotFix\_6434] (SEG-11628,SEG-12203)

(SEG-11628)

#### 機能 1:

「BIN (銀行識別番号)」の正規表現と情報漏えい対策データ識別子が実装されるようになります。

~~~~~

(SEG-12203)

機能 2:

情報漏えい対策オプションで iTunes のブロックを回避できるようになり、デバイスコントロールが有効な場合でも、iPhone を充電できるようになります。

手順 2:

情報漏えい対策オプションでこの機能を設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥Private」フォルダにある「dlp.ini」ファイルを開きます。
3. [Configure] セクションに、「bypass_itunes_nonstor_usb_dc」キーを追加して値を「true」に設定します。

[Configure]

bypass_itunes_nonstor_usb_dc = true

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[クライアント管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[情報漏えい対策設定] の順にクリックします。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のキーが、「¥Windows¥System32¥dgagent¥」フォルダ内の「dsa.pro」ファイルに追加され

ます。

bypass_itunes_nonstor_usb_dc=true

[HotFix_6439] (SEG-12179)

(SEG-12179)

問題:

Windows 10 Anniversary Update をインストールしているタブレットがスリープ状態に入る際に、ブルースクリーン (BSOD) が発生することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、タブレットがスタンバイモードに入ると、イベント情報の送信を停止するようドライバに通知されるようになり、この問題が修正されます。タブレットがスタンバイモードから復帰すると、ドライバは初期設定で 10 秒間待機してから再びイベント情報の送信を開始します。

手順:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「10」に設定します。

[Global Setting]

PowerMonitorTime=10

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥AEGIS¥

名前: PowerMonitorTime

種類: DWORD

データ: 10 = PowerMonitorTime を 10 秒に設定します (最大 60 秒)

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

[HotFix_6443] (SEG-13165)

(SEG-13165)

問題:

フルスクリーンモードのウィンドウがない場合でも、フルスクリーンモードが
検出され、予約検索が延期される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、フルスクリーンモードの検索時に、表示可能なコン
テンツのないウィンドウが除外されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix_6447] (SEG-8096,SEG-13656,SEG-12830,SEG-13700)

(SEG-8096)

問題 1:

Cisco VPN ソフトウェアのインストール時またはアップグレード時に、TmLwf レジス
トリキーの下にあるレジストリキーへのアクセスが試行され、インストールまたは
アップグレードに失敗する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、TmLwf レジストリキーのセルフプロテクション機能を
無効にするキーを追加できるようになり、この問題が修正されます。

手順 1:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して、値を「1」に設定しま
す。

[Global Setting]

SP_DisableTmLwfRegistryKeyProtection=1

1 = TmLwf レジストリキーのセルフプロテクションを無効にします

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥AEGIS

名前: SP_DisableTmLwfRegistryKeyProtection

種類: DWORD

データ: 1 = TmLwf レジストリキーのセルフプロテクションを無効にします。

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

~~~~~

(SEG-13656)

問題 2:

Windows タスクマネージャの [プロセス] タブで、64 ビット版の OfficeScan NT RealTime Scan (NTRtScan.exe) の [説明] フィールドに「Trend Micro Common Client Real-time Scan Service (32-bit)」と表示される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、「Trend Micro Common Client Real-time Scan Service (64-bit)」と表示されるようになります。

~~~~~

(SEG-12830)

問題 3:

ZIP ファイルから「AFUDOS.exe」ファイルを抽出する際に保護対象コンピュータの応答が停止するか遅くなることがあり、さらに挙動監視エンジンがポリシー一致を実行すると保護対象コンピュータが予期せず停止することがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ロック範囲が削除され、コンピュータが予期せず停止することがなくなるほか、try-catch 処理で例外がキャッチされるようになり、ハンドルリークの問題が回避されるようになります。

~~~~~

(SEG-13700)

問題 4:

挙動監視機能に起因して、承認済みリストに登録されている一部のサードパーティ製プログラムが応答を停止することがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

手順 4:

この修正を配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、「AegisSkipNotificationEvent」キーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]

AegisSkipNotificationEvent=1

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥AEGIS

名前: SkipNotificationEvent

種類: DWORD

データ: 1

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

[CP\_6448] (VRTS-1228)

(VRTS-1228)

問題:

ユーザモードフック (UMH) のダイナミックリンクライブラリ (DLL) が他のアプリケーションにロードされると、そのアプリケーションで DLL ハイジャック攻撃の脆弱性が生じることがある問題。

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_6451] (SEG-14071)

(SEG-14071)

機能:

情報漏えい対策オプションで、Google Chrome の次のバージョンがサポートされるようになります。

- Google Chrome 61.0.3163.79

[HotFix\_6454] (SEG-14058)

(SEG-14058)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントのインストールフォルダ名にマルチバイト文字が含まれていると、クライアントコンソールにウイルス検出のログが表示されない問題。

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[JP\_Hotfix\_6390] (SEG-2537)

問題 1:

[情報漏えい対策設定]→[内部クライアント] タブ→[除外] タブの [圧縮ファイル検索] の [解凍ファイルのサイズが次の値を超える場合] で、サポートされる最大値が 10GB であるにもかかわらず、最大値まで設定できない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、[解凍ファイルのサイズが次の値を超える場合] で最大 10GB まで設定できるようになります。



## ■修正されるウイルスバスター Corp. XG の各問題および新機能

[CP\_1315] (TT-356677)

### 問題 1:

OfficeScan Master Service (ofcservice.exe) がクラッシュしても、ウイルスバスター Corp.クライアントがアップデートを続けることがある問題

### 修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルが置き換えられ、この問題が修正されます。

### 問題 2:

ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムおよびウイルスバスター Corp.クライアントのスマートスキャンモジュールで使用されている OpenSSL のバージョンが脆弱性の影響を受ける問題

### 修正 2:

本 Service Pack の適用後は、サーバモジュールとスマートスキャンモジュールで使用されている OpenSSL のバージョンがアップデートされ、この問題が修正されます。

[CP\_1352] (VRTS-283,VRTS-393,VRTS-615) [CP\_1429] (VRTS-283, VRTS-393)

(VRTS-283)

### 問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムの Web レピュテーションサービスによって Web ページへのアクセスがブロックされる際、[ウイルスバスター Corp.によって Web サイトがブロックされました] という警告画面が表示されますが、この警告画面がクロスサイトスクリプティング (XSS) の脆弱性の影響を受ける可能性がある問題

### 修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

(VRTS-393)

### 問題 2:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの操作中に、暗号化されたアカウントパスワードが漏えいする可能性がある問題

この問題に起因して、ウイルスバスター Corp. Web コンソールが権限のないユーザによりログインされる可能性があります。

### 修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

(VRTS-615)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントのセルフプロテクション機能がアップデートされ、攻撃からの保護が強化されます。

[HotFix\_1253] (TT-355172)

問題:

情報漏えい対策オプションモジュールで、不正なファイルを添付したメールメッセージの Web メール経由での送信をブロックできない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、HTTPS 解析機能がアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1254] (TT-355446)

問題:

Web コンソールの [診断]→[管理対象外のエンドポイント] 画面で、Active Directory 下のエンドポイントにウイルスバスター Corp.クライアントをインストールする場合、エンドポイント名にアンド記号 (&) が含まれていると、[クライアントインストールの進行状況] に進行状況が表示されないことがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_1255] (TT-355573)

問題:

複数のアップデートエージェントが使用可能であっても、[アップデート]→[クライアント]→[アップデート元]→[追加] で表示される [IP アドレスの範囲とアップデート元の追加] 画面の [アップデートエージェント] ドロップダウンリストにアップデートエージェントが 1 つしか表示されず、他のアップデートエージェントを選択できない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、使用可能なすべてのアップデートエージェントが表示されるようになります。

[HotFix\_1262] (TT-356409)

問題:

Trend Micro Control Manager 6.0 サーバから受信したポリシーに空白文字が含まれていると、ウイルスバスター Corp.サーバでそのポリシーを正しく適用できない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、ポリシー内の空白文字が正しく解析されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_1265] (TT-356681,356463)

問題 1:

[クライアント]→[クライアント管理] 画面で、[クライアントツリー表示] ドロップダウンリストに次のいずれかを指定し、[エクスポート] をクリックしてクライアントリストをエクスポートしようとする、Web コンソールからゲートウェイエラーが返される問題

- スパイウェア対策表示
- 情報漏えい対策オプション表示
- ファイアウォール表示

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、エクスポート機能がアップデートされ、クライアントリストを正しく取得できるようになります。

問題 2:

解放されたメモリを再利用しようとして、OfficeScan Master Service がクラッシュする問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、他のプロシージャが参照していないことを確認してから OfficeScan Master Service でメモリが解放されるようになります。

[HotFix\_1265.1] (TT-356615,356820)

機能:

情報漏えい対策オプションがアップデートされ、バージョン 54.0.2840.99 の Google Chrome がサポートされるようになります。

[HotFix\_1267] (TT-357679)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールがリモートファイルインクルード (RFI) の脆弱性の影響を受ける問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp. Web コンソールのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1269] (TT-356494,357105)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムおよび CI エンジン (tmxfalcon.dll) がアップデートされ、より正確かつ効率的な機械学習型検索機能が提供されるようになります。

[HotFix\_1270.1] (TT-354880)

問題:

ウイルスバスター Corp.の情報漏えい対策オプションにより、次のソフトウェアアプリケーションがブロックされる問題

- Skype for Business (SFB) のクラウドストレージ
- Office テレメトリ

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.の情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1277] (TT-357706,357326,354880,356820,357553)

問題 1:

情報漏えい対策オプションモジュールで、Skype for Business が予期せずブロックされ、クラウドストレージチャネルで誤った警告が発生する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、HTTPS 解析機能がアップデートされ、情報漏えい対策オプションモジュールで Skype for Business の通信がブロックされなくなります。

問題 2:

情報漏えい対策オプションで、ファイル属性のみを含むポリシーではドキュメントをブロックできない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、マッチングプロセスがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1289] (TT-357043,358146,357664,356522)

(TT357043)

問題 1:

32 ビット版の Microsoft Windows コンピュータで稼働するウイルスバスター Corp.

クライアントをウイルスバスター Corp. XG にアップグレードすると、ウイルスバスター Corp.クライアントが 1 時間ごとに再起動を繰り返すことがある問題

#### 修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムがアップデートされ、ウイルスバスター Corp.クライアントをウイルスバスター Corp. XG に正常にアップグレードできるようになります。

~~~~~

(TT358146)

問題 2:

初期設定のブラウザを Chrome に設定して他のアプリケーションからハイパーリンクをクリックすると、Chrome の画面に「try to access to an unexpected site "--disable- quic"」というメッセージが表示される問題

修正 2: 本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

~~(TT357664)~~

#### ~~問題 3:~~

~~Microsoft Windows Vista 以降または Microsoft Windows Server 2008 以降を実行中のエンドポイントで、ファイアウォールドライバの正しいバージョンが認識されない問題。この問題に起因して、ウイルスバスター Corp.クライアントの「コンポーネント」のバージョン、およびウイルスバスター Corp. Web コンソールの「クライアント」→「クライアント管理」画面に表示されるクライアントツリーの「ファイアウォールドライバ」に、正しいバージョン「5.83.1003」が表示されず、「5.82.1089」が表示されていました。~~

#### ~~修正 3:~~

~~本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバが「tmwfw.sys」および「tmwfp.sys」ファイルを参照して、ファイアウォールドライバの正しいバージョン番号を確認するようになります。~~

(TT356522)

#### 機能:

ウイルスバスター Corp.サーバから Trend Micro Deep Discovery Analyzer サーバへのプロキシサーバを介したサンプル送信プロセスと、サンプル送信分析のエラー処理機能が強化されます。

プロキシを設定するには、次の新しいキーを使用します。

#### 新しいキー:

-----

UseProxy=1

ProxyServer=xxx.xxx.xxx.xxx

ProxyPort=xxxx

ProxyLogin=xxxx

ProxyPwd=xxxx

-----

これらの新しいキーを「...¥OfficeScan¥PCCSRV¥Private¥ofcDdaSvr.ini」ファイルの [Sample\_Submission] セクションに次のように追加します。

[Sample\_Submission]

OfcDdaServerRegistered=1

Server=xxx.xxx.xxx.xxx

APIKey=xxxxxxxxxx

UseProxy=1

ProxyServer=xxx.xxx.xxx.xxx

ProxyPort=xxxx

ProxyLogin=xxxxxx

ProxyPwd=xxxxxx

[HotFix\_1292] (TT-354631)

(TT354631)

機能:

HotFix ファイルをダウンロードし検索エンジンを再ロードする間、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムファイルのデジタル署名の確認をスキップするようにウイルスバスター Corp.クライアントを設定できるようになります。

手順:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
2. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]

DOVF=1

3. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
4. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] に移動します。
5. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
6. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: 64 ビットプラットフォームの場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥  
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥Misc.

32 ビットプラットフォームの場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥  
CurrentVersion¥Misc.

名前: DOVF

データ: 1

[HotFix\_1293] (TT-358410,358027)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントで証明書の不一致エラーが発生すると、  
OfficeScan NT Listener (TmListen.exe) が予期せず停止する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのエラー処理メ  
カニズムが強化され、証明書の不一致イベントが適切に処理されるようになり、こ  
の問題が修正されます。

[HotFix\_1308\_replaced\_by\_CP\_1315] (TT-352397,358345,358044,358404,358940,  
358516,357444,358095)

(TT352397)

問題 1:

[クライアント]→[クライアント管理] 画面でクライアントを選択し、[エクスポー  
ト] をクリックしてクライアントの情報をエクスポートすると、[前回のスパイ  
ウェア検出日時 (リアルタイム)] の列名が CSV ファイルでは [前回のスパイウェア  
検索日時 (リアルタイム)] と表示される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、CSV ファイルに正しい列名が表示されるようになります。

~~~~~

(TT358345)

問題 2:

システムイベントログで SQL 例外が継続的に発生し、インターネットインフォメー
ションサービス (IIS) がクラッシュする問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップ
デートされ、ウイルスバスター Corp.サーバと IIS サーバが正常に機能するようになります。

~~~~~  
(TT358044)

問題 3:

Windows イベントログで大量のメッセージが生成される問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのキャッシュ時  
間が 12 時間に延長され、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT358404)

問題 4:

アップデートエージェントの管理下にある一部のウイルスバスター Corp.クライ
アントで、Windows タスクバーにあるウイルスバスター Corp.クライアントのアイ
コンが赤と青に繰り返し点滅し、「危険な状態です」というメッセージが表示されることがある問題

この問題は、リアルタイム検索サービスが機能していないことに起因して発生していました。

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバおよびクライアントの
プログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT358940)

問題 5:

インテル Pentium プロセッサ（開発コード名: Apollo Lake）などの新しい種類の  
プロセッサで使用するサードパーティ製の OpenSSL ライブラリ間で、互換性に関  
するエラーが発生する問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルが置き換え  
られ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT358516)

問題 6:

パフォーマンスの強化により、OfficeScan NT RealTime Scan (NTRtScan.exe) に
メモリークが発生する問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、パフォーマンスの強化が無効になり、この問題が修正されます。

~~~~~



(TT358095)

問題 7:

Outlook.office.com や Outlook.live.com などの最新の Web メールサイトへのアクセスに Google Chrome を使用すると、これらの Web メールサイトからのファイルのドラッグアンドドロップが情報漏えい対策オプションでブロックされない問題

修正 7:

本 Service Pack の適用後は、ファイルのドラッグアンドドロップが情報漏えい対策オプションでブロックされるようになります。

~~~~~

(TT357444)

機能:

「SvrSvcSetup.exe」ツールを使用して、Microsoft Internet Information Services (IIS) サーバにインストールされたウイルスバスター Corp. Web サイトに対し、SHA-256 署名アルゴリズムと 2048 ビット公開鍵で SSL 証明書を生成できるようになります。

手順:

SHA-256 署名アルゴリズムと 2048 ビット公開鍵を使用して SSL 証明書を生成し、IIS の SSL 証明書を手動で更新するには、次の手順に従ってください。

1. 管理者としてログオンし、コマンドプロンプトを開いて「PCCSRV」ディレクトリに移動します。
2. 次のコマンドを実行します。

```
SvrSvcSetup.exe -GenIISCert
```

新しい SSL 証明書が生成され、IIS の SSL 証明書ストアに自動的に追加されます。

3. IIS マネージャー (inetmgr.exe) を開きます。
4. ウイルスバスター Corp. Web サイトを右クリックして [バインドの編集...]をクリックします。
5. [サイト バインド] 画面が表示されたら、[種類] で「https」を選択し、[編集...] をクリックします。
6. 新しく作成された SSL 証明書を選択して、[OK] をクリックします。

注意: SHA-256 署名アルゴリズムと 2048 ビットの公開鍵を表示するには、
[参照...] オプションをクリックします。

7. [閉じる] をクリックします。

[HotFix_1314_replaced_by_CP_1315] (TT-357421,358192,359293)

(TT357421)

問題 1:

Windows Embedded 7 を実行するエンドポイントで、OfficeScan NT RealTime Scan (NTRtScan.exe) が予期せず停止することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT358192)

問題 2:

Web コンソールの [診断]→[管理対象外のエンドポイント] 画面で、[非管理対象のエンドポイントの予約診断] レポートを表示すると、そのウイルスバスター Corp. サーバの管理下にある複数のエンドポイントの [セキュリティステータス] 列に [他のウイルスバスター Corp.サーバの管理下] と表示されることがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、大文字と小文字を区別しないようにウイルスバスター Corp.サーバの確認メカニズムが変更され、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT359293)

問題 3:

ウイルスのアウトブレイク通知にエントリが 1 つしか表示されない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルが置き換えられ、この問題が修正されます。

[HotFix_1318] (TT-359826)

問題:

ウイルスバスター Corp. XG の挙動監視機能により、正当なプログラムがブロックされる問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.の挙動監視のローカルパターンファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_1321] (TT-359260,359630,358898,360065,359660,SEG-1194)

[DE_HotFix_1420] (SEG-2766)

(SEG-1194)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントが起動時にウイルスバスター Corp.サーバに
接続できない場合、予約アップデートを実行できなくなる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバおよびクライアントの
ファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT359260) / (SEG-2766)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.の OfficeScan NT RealTime Scan (NTRtScan.exe) サービ  
スに起因して、Windows システムが応答しなくなることがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントの挙動監視コア  
サービスプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT359630)

問題 3:

情報漏えい対策が有効な場合、Microsoft Outlook の起動に時間がかかる問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策の「sakfile.sys」ファイルがアップ
デートされ、「Outlook.exe」が除外リストに追加されるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT358898, TT360065)

機能:1:

情報漏えい対策オプションで、次の Google Chrome のバージョンがサポートされるようになります。

- Google Chrome 55.0.2883.87
- Google Chrome 56.0.2924.87

~~~~~  
(TT359660)

機能:2:

情報漏えい対策オプションで、Microsoft OneNote 2016 のファイルタイプ
「*.one」が認識およびサポートされるようになります。

[HotFix_1322] (TT-359257,359636,359535)
(TT359535)

問題 1:

OfficeScan Control Manager Agent (OfcCMAgent.exe) の初期設定処理に問題が
あり、OfcCMAgent.exe が予期せず停止することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT359636)

問題 2:

ルートドメインからサブドメインに設定をエクスポートすると、サンプル送信設定  
がサブドメインに継承されない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、設定のエクスポート時にウイルスバスター Corp.サー  
バで「ofcscan.ini」にフラグが設定されるようになり、ルートドメインのすべて  
の設定がサブドメインに継承されるようになります。

~~~~~

(TT359257)

問題 3:

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムの実行時に、Skype for Business
が応答を停止する問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントの OfficeScan
Common Client Solution Framework (CCSF) モジュールのファイルがアップデート
され、サードパーティ製ソフトウェアがハングしなくなります。

[HotFix_1325] (TT-356626)

機能:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント]→[クライアント管理]
→(クライアントを選択)→[設定]→[デバイスコントロール設定] 画面で、
[モバイルデバイス] の [権限] に [読み取り] を指定できるようになります。

手順:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
2. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。

[Global Setting]

InstallDLPWpdDriver=1

3. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
4. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
5. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

キー名: 64 ビットプラットフォームの場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥DlpLite

32 ビットプラットフォームの場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥DlpLite

名前: InstallDLPWpdDriver

種類: DWORD

データ: 0 = [モバイルデバイス] の [権限] で [読み取り] を指定できる機能を無効にします

1 = [モバイルデバイス] の [権限] で [読み取り] を指定できる機能を有効にします

[HotFix_1331] (TT-359497,SEG-1927,SEG-1362,SEG-1365)

[HotFix_1340] (SEG-1184)

(SEG-1927)

問題 1:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの操作中に、暗号化されたアカウント
パスワードが漏えいする可能性がある問題

この問題に起因して、ウイルスバスター Corp. Web コンソールが権限のない
ユーザによりログインされる可能性があります。

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT359497) / (SEG-1184)

問題 2:

メールチャネルで実行されている一部のプロセスによって、他のチャネルのポリ  
シーが起動されることがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントでルールのマッ  
チング方法がアップデートされ、現在のチャネルのポリシーのみが起動されるようになります。

~~~~~  
(SEG-1362, SEG-1365)

問題 3:

「User Agent」ヘッダが正しくないフォーマットであることに起因して、統合
スマートプロテクションサーバおよびスタンドアロンスマートプロテクション
サーバが「User Client」ヘッダの情報を解析できない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、iCRC 共通モジュールによって「User Agent」ヘッダに
正しいフォーマットで情報が追加されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix_1334] (SEG-2329,SEG-2473,SEG-1175)

(SEG-2329)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントが不要な証明書「ofcsslagent」をクライ
アントコンピュータにインストールする問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、「ofcsslagent」証明書が削除され、これ以降この証
明書がインストールされなくなります。

~~~~~

(SEG-2473)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.クライアントがコンピュータからアンインストールされた  
後も、Windows のアクションセンターに OfficeScan NT Firewall が表示される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムが  
アップデートされ、Windows のアクションセンターからクライアントの OfficeScan  
NT Firewall が正常に登録解除されるようになります。

~~~~~

(SEG-1175)

機能:

ウイルスバスター Corp.クライアントの情報漏えい対策機能で、メールのマルチ
パート検索モードを無効にできるようになります。

手順:

情報漏えい対策機能でメールのマルチパート検索モードを無効にして、その設定を
ウイルスバスター Corp.クライアントに配信するには、次の手順に従ってください。

1. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。

2. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「0」に設定します。

[Global Setting]

EnableDlpMPScan=0

注意：設定を再度有効にするには、値を「1」に設定します。

3. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
4. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順にクリックして、[グローバルクライアント設定] 画面を表示します。
5. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: 64 ビットプラットフォームの場合

HKLM¥SYSTEM¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥
CurrentVersion¥DlpLite

32 ビットプラットフォームの場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥
CurrentVersion¥DlpLite

名前: EnableMPScan

種類: DWORD

データ: 0

[HotFix_1340] (SEG-2701,SEG-1640,SEG-3355,SEG-3016)

(SEG-2701)

問題 1:

Web コンソールの [お気に入り] メニューで項目を削除できない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップ
デートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-1640)

問題 2:

Web コンソールおよびクライアントコンソールの両方で、情報漏えい対策オプ  
ションのバージョンが「0.0.0」と表示される問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションの正しいバージョンが表示されるようになります。

~~~~~

(SEG-3355)

問題 3:

システムの起動時、ウイルスバスター Corp.クライアントから「ウイルス対策の状態」が Windows セキュリティセンター (WSC) に送信されますが、システムを再起動すると、「ウイルス対策の状態」の送信が無効になっていると WSC に表示される問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-3016)

機能:

情報漏えい対策オプションで、次の Google Chrome のバージョンがサポートされるようになります。

- Google Chrome 57.0.2987.98
- Google Chrome 57.0.2987.110

[HotFix\_1341] (SEG-2319) / [JP\_HotFix\_1422] (SEG-2319)

問題:

挙動監視モジュールが一定の時間内に Avaya Scopia から応答を受信しない場合に、Avaya Scopia のログイン画面が応答を停止する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、Avaya Scopia に対する挙動監視モジュールのセルフプロテクション機能を無効にできるようになります。これにより、非互換性の問題を防止し、保護対象コンピュータで Avaya Scopia が正常に機能するようになります。

手順:

問題が発生しているコンピュータで挙動監視モジュールのセルフプロテクション機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
2. [Global Setting] セクションに次のキーを追加して、値を「1」に設定します。



[Global Setting]

SkipDuplicateSameAccess=1

3. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
4. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
5. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
6. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリ  
キーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥  
Services¥tmactmon¥Parameters

名前: SkipDuplicateSameAccess

種類: dword

データ: 1、セルフプロテクション機能を無効にします。  
0、セルフプロテクション機能を有効にします。

[HotFix\_1343] (SEG-2354,SEG-2420,SEG-3372,SEG-3237)

(SEG-2354)

問題 1:

ファイアウォールの除外ルールに単一 IP アドレスを設定すると、設定した IP アドレ  
スがウイルスバスター Corp.クライアントコンソールの [除外ルール] 画面にある  
[IP アドレス] に表示されない問題

修正:1: 本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-2420)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.クライアントがオフラインの場合、不審 URL オブジェクト
検出機能が動作しない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-3372)

問題 3:

「outlook.com」や「outlook.office.com」のメールメッセージで検出された機密情報が、Web メールチャネルではなく HTTP チャネルとしてログに表示される問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-3237)

問題 4:

ウイルスバスター Corp.クライアントで、「outlook.com」の Web メール、機密情報を含む添付ファイルがブロックされない問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_1346] (SEG-2594,SEG-3160)

(SEG-2594)

問題 1:

自己解凍型 RAR 形式ファイルとしてパッケージされた Intel のドライバファイルを起動する際、ウイルスバスター Corp.の挙動監視機能により、オペレーティングシステムが予期せず停止することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-3160)

問題 2:

Web コンソールを開き、[管理]→[Active Directory]→[Active Directory 統合] の順に選択し、[Active Directory ドメイン] で Active Directory のドメイン名を指定して、[ドメインアカウント情報の指定] ボタンをクリックし、ユーザ名とパスワードを指定して [保存] ボタンをクリックすると、Active Directory 統合アカウントのアカウント情報が適切に保存されない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1347] (SEG-3734)

(SEG-3734)

問題:

Web レピュテーションサービスが無効な場合、ウイルスバスター Corp.クライアントが Web レピュテーションクエリの送信先として使用可能な Smart Protection Server を検索し続けるため、ネットワークがビジー状態になる可能性がある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、Web レピュテーションサービスが無効な場合にウイルスバスター Corp.クライアントが Local Web Classification Server (LWCS) を検索しないようにするオプションが追加されます。

手順:

このオプションを有効にするには、次の手順に従ってください。

1. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
2. [ICRC\_SCAN\_INI\_SECTION] セクションに、次のキーを追加して値を「0」に設定します。

```
[ICRC_SCAN_INI_SECTION]  
WCSServiceSearchIfDisabled=0
```

3. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] 画面に移動します。
4. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: 64 ビットプラットフォームの場合

```
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥  
PC-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥iURL Scan
```

32 ビットプラットフォームの場合

```
HKLM¥SOFTWARE¥TrendMicro¥Pc-cillinNTCorp¥CurrentVersion¥  
iURL Scan¥
```

名前: ServiceSearchIfDisabled

データ: 0

[HotFix\_1349] (TT-360059,SEG-3093,SEG-4276)

(SEG-4276)

問題 1:

「PostponedInst」フォルダに古いバージョンのファイルが含まれていると、その  
タイムスタンプが最新ののものであっても、ウイルスバスター Corp.クライアントが  
アップグレードを試行し続ける問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントの確認メカニズ  
ムが強化され、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-3093)

問題 2:

情報漏えい対策オプションの API フックが Windows 10 Creators Update の RTM 版
(ビルド 15063) で機能しない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT360059)

問題 3:

ウイルスバスター Corp.クライアントによって保護されているコンピュータで、  
FortiClient VPN プログラムに接続の問題が発生することがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、FortiClient VPN と情報漏えい対策オプションモ  
ジュールとの互換性の問題が修正されます。

[HotFix\_1354] (SEG-1256,SEG-3260,SEG-4711) [HotFix\_1468] (SEG-9443)

(SEG-1256)

問題 1:

挙動監視機能により一部のコンピュータが断続的にロックされることがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-3260)

問題 2:

挙動監視機能により Adobe Acrobat Reader が断続的にブロックされることがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視のユーザモードフック (UMH) アドオンモ
ジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-4711) / (SEG-9443)

問題 3:

Trend Micro Control Manager (以下、Control Manager)のポリシー設定に ASCII 以外の文字が含まれている場合、ウイルスバスター Corp.サーバでそのポリシーの署名を確認できない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバで Control Manager のポリシーに含まれる ASCII 以外の文字列を処理できるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_1355] (SEG-4824,SEG-3830) [KO\_HotFix\_1454] (SEG-3830)

(SEG-3830)

問題 1:

一部の Web サイトにアクセスすると、プロセス検査で使用されるユーザモードフック (UMH) 機能により誤警告が発生することがある問題

修正:1:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) モジュールがアップデートされこの問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-4824)

問題 2:

Outlook を使用してメールメッセージを送信すると、情報漏えい対策により情報漏えい対策ログが重複して生成される問題

修正:2:

本 Service Pack の適用後は、Outlook で情報漏えい対策のマルチパート機能が有効になり、この問題が修正されます。

[HotFix_1358] (SEG-4985)

(SEG-4985)

問題:

トレンドマイクロパーソナルファイアウォールで、実行可能イメージのハッシュ値の計算に時間がかかり、アプリケーションからサーバへの接続がタイムアウトになり、アプリケーションエラーが発生する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ファイアウォールモジュールがアップデートされ、接続を開始した実行可能イメージのハッシュ値が非同期で計算されるようになりま

す。ハッシュ値の計算が終了するまでアプリケーションフィルタのすべてのルールは利用できなくなり、アプリケーションの接続がブロックされなくなります。

[HotFix_1359] (SEG-5670)

(SEG-5670)

問題:

ウイルスバスターCorp. Web コンソールの [管理]→[通知] 内の [メッセージ] フィールドに TAB 文字を含む情報を入力した場合、設定を正しく保存できない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデイトされ、この問題が修正されます。

[HotFix_1368] (TT-359239,SEG-1266,SEG-2425,SEG-4948,SEG-4800,SEG-6057,SEG-5807,SEG-3749,SEG-4620,SEG-5561)

(TT359239)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントと Symantec Data Loss Prevention アプリケーションが同じエンドポイントで実行されている場合、Web レピュテーション機能が Web サイトへの通常のアクセスをブロックする問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントモジュールがアップデートされ、Web レピュテーション機能が Symantec Data Loss Prevention アプリケーションと競合しないようになります。

~~~~~  
(SEG-1266)

問題 2:

[クライアント]→[クライアント管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[挙動監視設定] の [ルール] タブにある [プログラム検査を有効にして不正な実行可能ファイルを検出およびブロック] オプションが有効な場合に、ユーザモードフック (UMH) ドライバによって UNC パスからの一部のアプリケーションの実行がブロックされることがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) ドライバがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-2425)

問題 3:

情報漏えい対策が有効な場合、Microsoft Outlook でリモート PST ファイルのロードに時間がかかる問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-4948)

問題 4:

情報漏えい対策が有効な場合、SMB パスからインターネットへのファイルのアップ  
ロードが予期せず停止することがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-4800)

問題 5:

情報漏えい対策が有効な場合、RDP (リモートデスクトッププロトコル) クリップ
ボードを使用したファイルのコピーに時間がかかる問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、リモートデスクトップ接続 (Mstsc.exe) プロセスが
承認済みリストに追加され、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-5807)

問題 6:

デバイスリストツール (ListDeviceInfo.exe) で次の外部デバイスの情報を取得  
できない問題

- LaCie Rugged THB USB3 SCSI Disk Device.
- Seagate(R) Backup+ Hub BK SCSI Disk Device.
- Seagate BUP BL SCSI Disk Device.

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-3749)

問題 7:

Web レピュテーションサービスの実行中にウイルスバスター Corp.クライアントの
OfficeScan NT Listener (TmListen.exe) が予期せず停止する問題

修正 7:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのプログラムが
アップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-4620) / [JP\_HotFix\_1453] (SEG-6632)

問題 8:

Active Directory の同期後、[クライアントのグループ設定] でステータスがオフ  
になる問題

修正 8:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップ  
デートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-5561)

問題 9:

最新の HotFix をすべて適用した後も、ウイルスバスター Corp.クライアントに古
いビルド番号が表示される問題

修正 9:

本 Service Pack の適用後は、起動時に OfficeScan NT Listener (TmListen.exe) に
より「HotFix history.ini」ファイルが確認され、ビルド番号が更新されるようになります。

[HotFix_1371] (SEG-2791,SEG-5527,SEG-6408,SEG-5843)

(SEG-5527)

問題 1:

Microsoft Windows 10 プラットフォームのコンピュータで、情報漏えい対策
(DLP) ネットワークフィルタドライバが、転送ドライバインタフェース (TDI)
ネットワークフィルタドライバとともにインストールされる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、OS のバージョンを判断するメカニズムがアップデート
され、正しいドライバがインストールされるようになります。また、TDI ドライバ
を正しいドライバに置き換える、Microsoft Windows フィルタリングプラット
フォーム (WFP) ドライバの置換メカニズムも提供されます。

~~~~~

(SEG-6408)

問題 2:

他のプログラムがファイルをインターネットにアップロードしている間、情報漏  
えい対策オプションモジュールが正常に動作しなくなる可能性がある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-5843)

問題 3:

情報漏えい対策のマルチパート検索機能が有効な場合、Microsoft Outlook で複数の異なるユーザに対して検出されたすべての違反が、最初のログインユーザの下に表示される問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールでプロセス ID ごとのプロセスの所有者が検索前に確認されるようになり、それぞれの違反が正しいユーザアカウントの下に表示されるようになります。

~~~~~  
(SEG-2791)

問題 4:

[クライアント]→[クライアント管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[不審接続監視設定] 画面でオプションを選択して [保存] をクリックした場合、ブルースクリーン (BSOD) が発生することがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ネットワークコンテンツ検査エンジンがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1376] (SEG-3077,SEG-7326,SEG-5414,SEG-7410)

(SEG-3077)

問題 1:

[管理]→[設定]→[不審オブジェクトリスト]→[不審オブジェクトリスト設定] 画面に表示される説明の表現に誤りがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-7326)

問題 2:

Microsoft SQL データベースを使用すると、ストアドプロシージャに渡される Null 値によって ADO 例外エラーが発生することがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバおよびクライアントのファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-5414)

問題 3:

Microsoft Internet Explorer で Microsoft SharePoint サイトのファイルを移動すると、Microsoft Internet Explorer が応答を停止する問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-7410)

問題 4:

機密情報を含むメールメッセージの送信が情報漏えい対策オプションで検出され
ると、ウイルスバスター Corp.クライアントで空の「アクティビティ/チャンネル」ログが生成される問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix_1378] (VRTS-694)

(VRTS-694)

問題:

ウイルスバスターCorp. のプラグインである、Trend Micro Toolbox サービスと
「TMSmartRelayService」が、引用符で囲まれていない Windows サービスパスの脆弱
性の影響を受ける問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、サービスが再インストールされ、この問題が修正され
ます。

[HotFix_1380] (SEG-7412,SEG-7327,SEG-7223)

(SEG-7412)

問題 1:

Microsoft Outlook で機密データを送信すると、最初に表示される [理由申請] 画
面で処理を指定した後も、複数の情報漏えい対策違反イベントが表示される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、[理由申請] 画面で処理が指定された後にメールイ
ベントのタイムスタンプが記録されるようになり、この問題が修正されます。

(SEG-7327)

機能 1:

情報漏えい対策オプションで、バージョン 59.0.3071.86 の Google Chrome がサ
ポートされるようになります。

~~~~~

(SEG-7223)

機能 2:

情報漏えい対策オプションで iTunes のブロックを回避できるようになり、デバイスコントロールが有効な場合でも、iPhone を充電できるようになります。

情報漏えい対策オプションでこの機能を設定するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV¥Private」フォルダにある「dlp.ini」ファイルを開きます。
3. [Configure] セクションに、「bypass\_itunes\_nonstor\_usb\_dc」キーを追加して値を「true」に設定します。

[Configure]

bypass\_itunes\_nonstor\_usb\_dc = true

4. 変更内容を保存し、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[クライアント管理]→ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[情報漏えい対策設定] の順にクリックします。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のキーが、「¥Windows¥System32¥dgagent¥」フォルダ内の「dsa.pro」ファイルに追加されます。

bypass\_itunes\_nonstor\_usb\_dc=true

[HotFix\_1382] (SEG-4973)

(SEG-4973)

機能:

Web コンソールで [ログ]→[クライアント]→[コンポーネントアップデート] の順に選択し、[コンポーネントアップデートログ] 画面で [詳細] 列の [表示] をクリックすると表示される [コンポーネントアップデートの詳細] 画面に、次の情報が追加されるようになります。

- エンドポイントのドメイン階層
- エンドポイントの IP アドレス

[HotFix\_1386] (SEG-5899)

(SEG-5899)

問題:

ウイルスバスター Corp.の製品 Q&A にある文書番号: 1105079 で説明されている手順を実行しても、正しく機能しないことがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、Trend Micro Smart Scan Server サービスと Trend Micro Smart Protection Query Handler サービスの両方で証明書の処理プロセスがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1389] (SEG-7202)

(SEG-7202)

問題:

ウイルスバスター Corp.エッジリレーサーバのインストーラが SQL Server に接続しようとすると次のエラーメッセージが表示される問題

「SQL Server に接続できません。」

修正:

本 Service Pack の適用後は、InstallShield で SERVERPROPERTY メタデータ関数が使用されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix\_1393] (SEG-7967,SEG-9014)

(SEG-7967)

問題 1:

マルチコア CPU 搭載のコンピュータでウイルスバスター Corp.の機械学習型検索機能の有効にすると、「OfficeScan NT RealTime Scan (NTRtScan.exe)」および「iexplorer.exe」のプロセスに関連する共有違反が発生する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ファイルオープンに対して共有モードが追加されるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-9014)

問題 2:

ユーザモードフック (UMH) ドライバに関連する問題により、ブルースクリーン (BSOD) が発生する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) ドライバがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_1396] (SEG-9985)

(SEG-9985)

問題:

情報漏えい対策のファイルシステムドライバに関連する問題により、Web ブラウザで RWX (Read-Write-Execute) の脆弱性が生じることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_1399] (SEG-7413)

(SEG-7413)

問題:

複数のログインユーザがメールメッセージを同時に送信した場合、情報漏えい対策ログが正確でなくなることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールで異なるユーザのメールメッセージがプロセス ID に基づいて区別されるようになり、この問題が修正されます。

[HotFix_1402] (TT-352886,350067,353933,355208,SEG-9974,SEG-2232,SEG-6031)

(SEG-9974)

問題 1:

5 秒以内に [メールの送信] ボタンを 2 回クリックすると、情報漏えい対策オプションによって機密情報が検出されても、機密情報を含むメールメッセージが送信される問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT352886)

問題 2:

情報漏えい対策データ識別子パターン「英国: RD&E 病院の患者番号」アルゴリズムにより、誤検出が発生することがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(TT350067)

問題 3:

Microsoft Excel でセルの内容をコピーして別のセルに貼り付けると、保護対象
コンピュータが応答を停止することがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(TT353933)

問題 4:

ユーザが読み取りアクセス権限のみを持つ USB ストレージデバイスのファイルを削除できる問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、適切な権限を持つユーザのみが USB ストレージデバイ  
スのファイルを削除できるようになります。

~~~~~

(TT355208)

問題 5:

Windows 7 または Windows 10 プラットフォームで情報漏えい対策を有効にする
と、Boot2Docker が起動しない問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-2232)

問題 6:

機密情報を含む PDF ファイルを Adobe Reader で印刷しようとすると、情報漏えい対  
策ログが重複して生成される問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-6031)

問題 7:

Microsoft Visual Studio を実行していると、情報漏えい対策オプションモジュー
ルの CPU 使用率が高くなる問題

この問題は、Microsoft Visual Studio、IncrediBuild、および Microsoft Build
Engine (MSBuild)によって実行されるネットワークイベントの重複検索に起因し
て発生していました。

修正 7:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[JP_HotFix_1412] (SEG-1362,SEG-1365)

問題:

「User Agent」ヘッダが正しくないフォーマットであることに起因して、統合
スマートプロテクションサーバおよびスタンドアロンスマートプロテクション
サーバが「User Client」ヘッダの情報を解析できない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、iCRC 共通モジュールによって「User Agent」ヘッダに
正しいフォーマットで情報が追加されるようになり、この問題が修正されます。

[JP_HotFix_1415] (SEG-2173,SEG-2473)

問題:

[ランサムウェア概要] ウィジェットで、ランサムウェアに関連した処理の件数を
クリックすると、ウイルスバスター Corp. Web コンソールにエラーが表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.のプログラムファイルが
アップデートされ、[ランサムウェア概要] ウィジェットの件数をクリックする
と、検出されたランサムウェアのログが表示されるようになります。

[JP_HotFix_1417] (SEG-2160)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントが、アップロード可能な単一ファイルの最大
サイズである 5MB を超えるファイルをウイルスバスター Corp.サーバにアップロー
ドしようとするにより、サーバのトラフィックが増大する問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、5MB のファイルサイズ制限がウイルスバスター Corp.
クライアントに同期され、制限値を超えるサイズのファイルがウイルスバスター
Corp.クライアントからウイルスバスター Corp.サーバにアップロードされなくなります。

[DE_HotFix_1423] (SEG-3227)

(SEG-3227)

問題:

システムの起動時、ウイルスバスター Corp.クライアントから「ウイルス対策の
状態」が Windows セキュリティセンター (WSC) に送信されるが、再起動後、WSC に
ウイルスバスター Corp.が無効と表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[JP_HotFix_1437] (SEG-5202)

問題:

自己解凍型 RAR 形式ファイルとしてパッケージされた Intel のドライバファイルを起動する際、ウイルスバスター Corp.の挙動監視機能により、オペレーティングシステムが予期せず停止することがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視サービスモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

[FR_HotFix_1442] (SEG-4616,SEG-5702,SEG-4910)

機能:

Web コンソールの [管理]→[アカウント管理]→[ユーザアカウント] 画面で、ユーザアカウントを追加または修正する際、[説明] ボックスにアポストロフィー(')を入力できるようになります。

[KO_HotFix_1445] (SEG-6008)

(SEG-6008)

問題:

クライアントパッケージツールで作成した 32 ビット版のインストールパッケージが機能しない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[JP_HotFix_1461] (SEG-6515)

(SEG-6515)

問題:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールで、[ダッシュボード]→[アウトブレイク] ウィジェットの [セキュリティ上の危険トップ 10 の表示] をクリックし、[スパイウェア/グレーウェアの統計:] に表示されたスパイウェア/グレーウェア名のセキュリティ情報へのリンクをクリックすると、英語版の「Threat Encyclopedia」サイトが表示される問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、正しいセキュリティ情報の画面が表示されるようになります。

[JP_HotFix_1462] (SEG-9203)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントが SSL-VPN に接続し MAC アドレスフィールドが空の場合、ウイルスバスター Corp.クライアントが IP アドレスおよび MAC アドレスの解決を繰り返し試行しますが、ウイルスバスター Corp.クライアントコンソールのネットワークカードリストに SSL-VPN の IP アドレスが表示されない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

[JP_HotFix_1467] (SEG-8426)

問題:

ウイルスバスター Corp.クライアントのレジストリキーで、「Publisher」のデータが異なることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

■修正されるウイルスバスター Corp. XG Patch 1 の各問題および新機能

[CP_1641] (VRTS-972)

(VRTS-972)

問題:

サードパーティ製 AmMap アプリケーションが、複数のクロスサイトスクリプティング (XSS) の脆弱性の影響を受ける問題

この問題に起因して、悪意あるユーザによりリモートで任意の Web サイトまたは HTML スクリプトが挿入される可能性があります

修正:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[CP_1680] (VRTS-989,VRTS-1018,VRTS-1020,VRTS-1052,SEG-11451,SEG-10130)

(VRTS 989)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.の PHP ファイルが、中間者攻撃 (MITM) およびリモートでコードを実行される脆弱性の影響を受ける可能性がある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

(VRTS 1018)

問題 2:

特定の PHP ファイルが実行されている間、攻撃者が脆弱性を悪用して PHP 情報をクエリできる可能性がある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、特定の PHP ファイルの情報が保護されるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(VRTS 1020)

問題 3:

ウイルスバスター Corp. XG のプログラムが、Host ヘッダインジェクションの脆弱性の影響を受けることがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(VRTS 1052)

問題 4:

攻撃者が特定のパラメータに上限を超える値を設定し、ウイルスバスター Corp.の
プロセスを予期せず停止させることができる脆弱性が存在する問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG 11451)

問題 5:

Autopcc の実行後、リアルタイム検索が予期せず無効になる問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG 10130)

問題 6:

CCSF ZIP ファイルの内容が正常に解凍されず、一部のウイルスバスター Corp.ク
ライアントをアップデートできない問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、他のプロセスが CCSF ZIP ファイルを使用している
場合でも、ウイルスバスター Corp.でファイルの解凍が継続して試行されるようになります。

[CP_1708] (SEG-9298,SEG-12165,SEG-12255,SEG-11606,SEG-11651,SEG-3758)

[HotFix_1708] (SEG-9298, SEG-12165, SEG-12255, SEG-11606, SEG-11651,
SEG-3758) [HotFix_1666] (SEG-10356) [TC_HotFix_1678] (SEG 10356)

(SEG-9298)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.クライアントがインストールされているコンピュータで、
共有違反により Autopcc が機能しない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、共有違反を防ぐためのバックアップフォルダが新し
く作成され、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-12165) / (SEG-10356)

問題 2:

マルチコア CPU 搭載のコンピュータでウイルスバスター Corp.の機械学習型検索機  
能を有効にすると、「OfficeScan NT RealTime Scan (NTRtScan.exe)」および「  
iexplorer.exe」のプロセスに関連する共有違反が発生する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ファイルオープンに対して共有モードが追加される  
ようになり、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-12255)

問題 3:

Windows Server 2003 プラットフォームで、プログラムコンポーネントが最新の場合でも、ウイルスバスター Corp.クライアントに次のようなメッセージが表示される問題

「今すぐアップデート: 新しいアップデートを 1 日間受信していません」

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムが
アップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-11606)

問題 4:

ウイルスバスター Corp.クライアントが、承認済みリストに登録された IP アドレス  
について C&C コールバック検出アラートを受信する問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ファイルパスエラーが解決され、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-11651) / (SEG-3758)

問題 5:

TLS 1.0 が無効な場合にウイルスバスター Corp.サーバをエッジサーバに登録できない問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、エッジサーバで TLS 1.1 および 1.2 がサポートされるようになります。

[CP_1737] (SEG-12946)

(SEG-12946)

問題:

Web コンソールを使用してウイルスバスター Corp.サーバ間でウイルスバスター
Corp.クライアントを移動すると、そのクライアントを正常にアップグレードできないことがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムが
アップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_1640] (VRTS-986,VRTS-994,VRTS-1014,VRTS-1022,SEG-7326,SEG-7829,
SEG-7354,SEG-4418,SEG-7580,SEG-4973,SEG-8495,SEG-9269,SEG-7825)

(SEG-7326)

問題 1:

Microsoft SQL データベースを使用すると、ストアドプロシージャに渡される Null 値によって ADO 例外エラーが発生することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバおよびクライアントのファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(VRTS 1014) / (VRTS 1022)

問題 2:

攻撃者が脆弱性を悪用して CGI リクエストを送信し、ウイルスバスター Corp.サーバで特定の EXE ファイルを実行および停止させることができる脆弱性が存在する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この脆弱性の問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-7829)

問題 3:

ウイルスバスター Corp. Web コンソールの [クライアント]→[クライアント管理] →ドメインまたはクライアントを選択→[設定]→[追加サービス設定] 画面で、サポートされるプラットフォームのリストに Windows Server 2016 プラットフォームが表示されない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-7354)

問題 4:

最新の HotFix をすべて適用した後も、ウイルスバスター Corp.クライアントに古いビルド番号が表示される問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、起動時に OfficeScan NT Listener (TmListen.exe) により「HotFix history.ini」ファイルが確認され、ビルド番号が更新されるようになります。

~~~~~

(VRTS 994)

問題 5:

特定の PHP 機能を介して、事前認証のサーバサイドリクエストフォージェリの脆弱性の影響を受ける可能性がある問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、特定の PHP ファイルがアップデートされ、ハードコードされてオンラインヘルプページに接続するようになります。

~~~~~

(SEG-4418)

問題 6:

Windows プラットフォームで実行されているウイルスバスター Corp.クライアントがシャットダウンまたは再起動中に応答を停止する問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、不正変更防止サービスが初期化を解除している間、プロセスがルックアサイドリストを使用して情報を読み取るようになり、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-7825)

問題 7:

大規模感染予防ポリシーが SMB 共有フォルダへのアクセスをブロックできない問題

修正 7:

本 Service Pack の適用後は、大規模感染予防ポリシーを有効にした場合にウイルスバスター Corp.で現在の接続を切断できるようになり、ポリシーが SMB フォルダへのアクセスをブロックできるようになります。

手順 7:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]
cnqConnectionTermination=1
4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro ¥PC-cillinNTCorp¥

CurrentVersion¥Misc.

名前: cnqConnectionTermination

種類: DWORD

データ: 0 = ネットワーク接続の復元をサポートしない

1 = ネットワーク接続の復元をサポートする

注意: この機能は IP アドレスを DHCP サーバから自動的に取得するコンピュータで
のみ利用できます。

~~~~~

(SEG-7580)

問題 8:

Web コンソールの [クライアント]→[エンドポイントの位置] 画面で、別のゲートウェイ IP アドレスを追加できない問題

修正 8:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(VRTS 986)

問題 9:

HTTP 要求を介してウイルスバスター Corp.サーバから特定のファイルをダウンロードできる脆弱性が存在する問題

修正 9:

本 Service Pack の適用後は、この脆弱性の問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-4973)

機能 1:

Web コンソールで [ログ]→[クライアント]→[コンポーネントアップデート] の順  
に選択し、[コンポーネントアップデートログ] 画面で [詳細] 列の [表示] をク  
リックすると表示される [コンポーネントアップデートの詳細] 画面に、次の情報  
が追加されるようになります。

- エンドポイントのドメイン階層
- エンドポイントの IP アドレス

~~~~~

(SEG-8495) / (SEG-9269)

機能 2:

情報漏えい対策オプションで、次の Google Chrome のバージョンがサポートされるようになります。

- Google Chrome 58.0.3029.110m
- Google Chrome 59.0.3071.86

[HotFix_1656] (VRTS-1012,SEG-9014)

(SEG-9014)

問題 1:

ユーザモードフック (UMH) ドライバに関連する問題により、ブルースクリーン(BSoD) が発生する問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) ドライバがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(VRTS 1012)

問題 2:

攻撃者がウイルスバスター Corp.の特定のプロセスを使用し、NT ドメインにクエリを実行できる脆弱性が存在する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

[HotFix\_1660] (SEG-7249,SEG-7730,SEG-8631,SEG-9007)

(SEG-7249)

問題 1:

ウイルスバスター Corp.の機械学習型検索機能により、Microsoft Outlook でフォームの発行がブロックされる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、高度な脅威検索エンジンの書き込み共有プロパティが変更され、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-7730)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.クライアントコンピュータで Microsoft Office を実行すると、ブルースクリーン (BSOD) が発生する問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、不要な文字列比較が実行されないようになり、保護対象コンピュータで Microsoft Office が正常に機能するようになります。

~~~~~  
(SEG-8631)

問題 3:

ウイルスバスター Corp.クライアントが実行され、有効になっている場合でも、Windows セキュリティセンターにウイルスバスター Corp.が無効と表示され、ウィ



ルスバスター Corp.のウイルス対策を有効にするように求めるメッセージが表示されることがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのファイルが  
アップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-9007)

問題 4:

プログラムコンポーネントが最新の場合でも、ウイルスバスター Corp.クライアン
トに次のようなメッセージが表示される問題

「今すぐアップデート: 新しいアップデートを 1 日間受信していません」

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムが
アップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix_1666] (VRTS-1115,SEG-9016) [TC_HotFix_1678] (VRTS-1115, SEG 9016)

(VRTS 1115)

問題 1:

攻撃者がバナーから収集した Web サーバの情報を悪用し、一般の Web サイトから検索
や自動攻撃を仕掛け、Web サイト改ざん攻撃や DoS (サービス拒否) 攻撃を実行することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この脆弱性の問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-9016)

問題 2:

不正変更防止サービスに関連する問題により、Windows 10 プラットフォームで稼働  
するコンピュータで、ウイルスバスター Corp.のデバイスコントロール機能が適切  
なポリシーを適用できないことがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、[管理者として実行] 機能を使用した USB ドライブのブ  
ロセスの検出と終了のサポートを有効に設定できるようになり、この問題が修正されます。

手順 2:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。

2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。  
  
[Global Setting]  
EnableDACTerminate=1
4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。
7. ウイルスバスター Corp.クライアントの挙動監視サービスを再起動します。

[HotFix\_1682] (SEG-6486)

(SEG-6486)

問題:

ブラウザ脆弱性対策機能が有効な場合に、ユーザの社内で使用されている Web アプリケーションにアクセスできないことがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、Microsoft Internet Explorer の JavaScript でフックのロジックがアップデートされ、この問題が修正されます。

[HotFix\_1692] (SEG-9646,SEG-11771,SEG-6439,SEG-8975,SEG-11404,SEG-12182,SEG-10980,SEG-11342,SEG-12076,SEG-7783,SEG-7318,VRTS-1284)

(VRTS 1284)

問題 1:

ファイアウォールドライバに影響を与える解放済みメモリの使用  
(Use-After-Free) の脆弱性により、コンピュータが予期せず停止することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-11771)

問題 2:

Web コンソールで [クライアント]→[情報漏えい対策]→[データ識別子] の順に選択し、[データ識別子] 画面で [ファイル属性] タブの [追加] ボタンをクリックすると表示される [データ識別子] 画面で、[ファイル属性] の下にある[ファイル拡張子] ボックスに下線 (_) を含むエントリを指定できない問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-6439)

問題 3:

Windows 8.1 プラットフォームで情報漏えい対策が有効な場合、一部のプログラムが予期せず停止することがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、Microsoft の「wow64.dll」モジュールの正しいパスが取得されるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-8975)

問題 4:

情報漏えい対策オプションモジュールで OWA Web メールを送信者のメールアドレス情報を解析できない問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールに機能が追加され、Office 365 の Web メールを送信者情報を正しく解析できるようになります。

~~~~~  
(SEG-10980)

問題 5:

外部プロキシサーバ用のアカウントとパスワードの設定で、特殊文字「#」を使用できない問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、jQuery による Ajax 呼び出しの問題が解決され、外部プロキシサーバ用のアカウントとパスワードの設定で特殊文字を使用できるようになります。

~~~~~  
(SEG-11342)

問題 6:

脆弱性対策機能に関する問題により、Internet Explorer が予期せず停止することがある問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントのファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-12076) / (SEG-7783) / (SEG-7318)

問題 7:

次のウイルスバスター Corp. 12.0 Patch 1 HotFix がウイルスバスター Corp.の  
ファイアウォールモジュールに関する問題の影響を受け、ファイアウォールサービ  
スでネットワーク接続エラーが発生したり、アプリケーションの接続タイムアウト  
が発生したりすることがある問題

- HotFix 6277
- HotFix 6281
- HotFix 6292
- HotFix 1358

修正 7:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.ファイアウォールがアップ  
デートされ、この問題が修正されます。

注意: 本 Service Pack の適用後は、エンドポイントを再起動して、影響を受けるウ  
イルスバスター Corp.クライアントのファイアウォールモジュールをアップデートする必要があります。

~~~~~

(SEG-9646)

問題 8:

一部のプリンタとウイルスバスター Corp.の機械学習型検索機能の間で、互換性に
関するエラーが発生する問題

修正 8:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

(SEG-11404) / (SEG-12182)

機能 1:

情報漏えい対策オプションで、次の Google Chrome のバージョンがサポートされるようになります。

- Google Chrome 60.0.3112.78
- Google Chrome 60.0.3112.90

[HotFix_1708] (SEG-11754,SEG-11495)

(SEG-11754)

機能 1:

Dropbox、Google ドライブ、および Gmail など、サポートされている Web サービスに
対する承認済みリストおよびブロックリストとの比較が高速化されるようになります。

(SEG-11495)

機能 2:

情報漏えい対策データ識別子に、「日本: 運転免許証番号」が追加されます。

[HotFix_1709] (SEG-11641)

(SEG-11641)

機能:

トレンドマイクロの機械学習型検索により、すべてのチャネルからの不審なプロセスやファイルに含まれる未知のセキュリティリスクを検出できるようになります。

[HotFix_1714] (SEG-10553,SEG-10964,SEG-11381,SEG-11966,SEG-9246,SEG-9408,SEG-11396,SEG-10766,SEG-12808)

(SEG-10553)

問題 1:

Trend Micro Control Manager 管理コンソールに表示されるウイルスバスター Corp.クライアントのステータス情報が、ウイルスバスター Corp.クライアントの Web コンソールの情報と一致しない問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-10964)

問題 2:

ウイルスバスター Corp.の機械学習型検索機能により、Microsoft Outlook でフォームの発行がブロックされる問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ファイルプロパティの抽出手順が後の段階で行われるようになり、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-11381)

問題 3:

[挙動監視設定] の [ルール] タブで、[不正プログラム挙動ブロック] > [脆弱性対策] の [脆弱性攻撃に関連する異常な挙動を示すプログラムを終了] を有効にすると、ウイルスバスター Corp.クライアントで誤検出がレポートされる問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-11966)

問題 4:

サポートされていない Windows バージョンを実行する保護対象コンピュータで  
ブルースクリーン (BSOD) が発生する問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、サポートされていない Windows バージョンの API フック  
のメカニズムが削除され、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-9408)

問題 5:

情報漏えい対策オプションが有効な場合に、保護対象コンピュータに接続された
Huawei スマートフォンでフォルダを参照できない問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、Huawei スマートフォンの cdrom デバイスインスタンス
が破棄され、MTP モードで接続された Huawei スマートフォンでフォルダを参照できるようになります。

~~~~~

(SEG-9246)

問題 6:

情報漏えい対策オプションが有効な場合に、保護対象コンピュータに接続された  
Huawei Mobile Broadband Airtel 4G Model デバイスを使用できない問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、Huawei Mobile Broadband Airtel 4G Model デバイス  
インスタンスが破棄され、情報漏えい対策オプションが有効な場合も、このデバイ  
スを使用してインターネットを参照できるようになります。

(SEG-11396)

機能 1:

情報漏えい対策オプションで、情報漏えい対策アプリケーションパターンファイル  
を使用して Google Chrome と承認済みプロセスのリストをサポートできるようになります。

~~~~~

(SEG-10766)

機能 2:

別のウイルスバスター Corp.サーバに移動しようとしているウイルスバスター
Corp.クライアントの証明書が一致しない場合に表示されるポップアップメッセー
ジがアップデートされます。

~~~~~

(SEG-12808)

機能 3:

情報漏えい対策データ識別子に、「ナイジェリア: Verve IIN(発行者識別番号)」が追加されます。

[HotFix\_1717] (SEG-10791,SEG-11327,SEG-11705,SEG-13146,SEG-13181,SEG-13293)

(SEG-10791)

問題 1:

挙動監視機能に起因して、承認済みリストに記載されている特定のサードパーティ製プログラムが応答を停止することがある問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

手順 1:

この修正をグローバルに適用および配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、「AegisSkipNotificationEvent」キーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]

AegisSkipNotificationEvent=1

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥AEGIS

名前: SkipNotificationEvent

種類: DWORD

データ: 1

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

~~~~~

(SEG-11327)

問題 2:

挙動監視機能が UNC パス上のファイルの署名を確認する際に、保護対象コンピュータが応答を停止することがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-11705)

問題 3:

挙動監視機能に起因して、保護対象コンピュータで挙動監視の承認済みリストに記載された特定のプログラムの実行中にパフォーマンスが低下することがある問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

手順 3:

この修正をグローバルに適用および配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、「AegisSkipNotificationEvent」キーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]

AegisSkipNotificationEvent=1

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥AEGIS

名前: SkipNotificationEvent

種類: DWORD

データ: 1

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

~~~~~

(SEG-13146/SEG-13181)

問題 4:

保護対象コンピュータの起動中にユーザモードフック (UMH) ドライバが破損した
キャッシュにアクセスしようとしてブルースクリーン (BSOD) が発生する問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ユーザモードフック (UMH) モジュールがアップデー
トされ、この問題が修正されます。

~~~~~  
(SEG-13293)

問題 5:

ウイルスバスター Corp.クライアントで情報漏えい対策オプションの MPS 機能を  
無効にできない問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、この問題が修正されます。

手順 5:

情報漏えい対策機能でメールのマルチパート検索モードを無効にして、その設定を  
ウイルスバスター Corp.クライアントに配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル  
ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「0」に設定します。

[Global Setting]  
EnableDlpMPScan=0

注意: 設定を再度有効にするには、値を「1」に設定します。

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順  
にクリックして、[グローバルクライアント設定] 画面を表示します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。

ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKLM¥SYSTEM¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥TrendMicro¥ PC-cillinNTCorp¥

CurrentVersion¥DlpLite  
名前: EnableMPScan  
種類: DWORD  
データ: 0

注意: MPS 機能を有効または無効にしたら、ウイルスバスター Corp.クライアントを再ロードする必要があります。

~~~~~

(SEG-13723)

問題 6:

Web コンソールおよびクライアントコンソールの両方で、情報漏えい対策オプションのバージョンが「0.0.0」と表示される問題

修正 6:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションの正しいバージョンが表示されるようになります。

[HotFix_1721] (SEG-4624,SEG-12101,SEG-12045,SEG-11500,SEG-12079,SEG-12552,
SEG-13772,SEG-13380,SEG-12859)

(SEG-4624)

問題 1:

挙動監視機能に起因して、保護対象コンピュータで特定の承認済みサードパーティ製プログラムのロードに時間がかかる問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-11500/SEG-12079)

問題 2:

情報漏えい対策オプションで、「outlook.live.com」および「facebook.com」への機密情報を含むファイルのアップロードをブロックできないことがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-12101/SEG-12045)

問題 3:

不正変更防止サービスが大量の CPU リソースを消費する問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視モジュールがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-12552)

問題 4:

不正プログラムの可能性があるプロセスの実行中に、ウイルスバスター Corp.の手動検索除外機能が正常に機能しないことがある問題

修正 4:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-13772/13380)

問題 5:

Cisco VPN ソフトウェアのインストールまたはバージョンアップ時、TmLwf レジストリキー下の一部のレジストリキーにアクセスしようとするとインストールに失敗する問題

修正 5:

本 Service Pack の適用後は、TmLwf レジストリキーのセルフプロテクションのみの機能を無効にするキーが追加され、この問題が修正されます。

手順 5:

この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォルダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。
3. [Global Setting] セクションに、次のキーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]

SP_DisableTmLwfRegistryKeyProtection=1

データ: 1: TmLwf レジストリキーのセルフプロテクションのみを無効にします。

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥PC-cillinNTCorp¥

CurrentVersion¥AEGIS

名前: SP_DisableTmLwfRegistryKeyProtection

種類: DWORD

データ: 1 = TmLwf レジストリキーのセルフプロテクションのみを無効にします。

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

~~~~~

(SEG-12859)

機能:

情報漏えい対策オプションのログ通知で次のトークンがサポートされ、プロセス、  
配信元、配信先、イベント ID の情報が追加されるようになります。

トークン

- %PROCESS%
- %SOURCE%
- %DESTINATION%
- %VIOLATIONID%

[HotFix\_1729] (SEG-1056)

(SEG-1056)

機能:

Trend Micro Osprey Firefox Extension がアップデートされ、Firefox 51 以降の  
バージョンがサポートされるようになります。

[HotFix\_1736] (SEG-14538,SEG-14855,SEG-13231)

(SEG-14538)

問題 1:

ブラウザ脆弱性対策機能を有効にすると、Web レピュテーションの承認済みリスト  
に追加された特定の Web サイトを開く際に Microsoft Internet Explorer がクラッシュする問題

修正 1:

本 Service Pack の適用後は、ブラウザ脆弱性対策コンポーネントがアップデートさ  
れ、この問題が修正されます。

手順 1:

この修正をグローバルに適用および配信するには、次の手順に従ってください。

1. 本 Service Pack をインストールします。
2. ウイルスバスター Corp.サーバのインストールフォルダ内の「PCCSRV」フォル

ダにある「ofcscan.ini」ファイルを開きます。

3. [Global Setting] セクションに、「DisableJSHook」キーを追加して値を「1」に設定します。

[Global Setting]  
DisableJSHook=1

4. 変更内容を保存して、ファイルを閉じます。
5. ウイルスバスター Corp. Web コンソールを開き、[クライアント]→[グローバルクライアント設定] の順に選択します。
6. [保存] をクリックして設定をクライアントに配信します。ウイルスバスター Corp.クライアントプログラムによって、次のレジストリキーが自動的に設定されます。

キー名: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥TrendMicro¥AMSP¥SAL  
名前: DisableJSHook  
種類: DWORD  
データ: 1

7. ウイルスバスター Corp.クライアントを再起動します。

~~~~~

(SEG-14855)

問題 2:

ブラウザ脆弱性対策機能を有効にすると、Web レピュテーションの承認済みリストに追加された特定の Web サイトにアクセスする際にエラーが発生することがある問題

修正 2:

本 Service Pack の適用後は、ブラウザ脆弱性対策コンポーネントがアップデートされ、この問題が修正されます。

~~~~~

(SEG-13231)

問題 3:

情報漏えい対策オプションに起因して、VirtualBox をヘッドレスモードで起動できない問題

修正 3:

本 Service Pack の適用後は、情報漏えい対策オプションモジュールがアップデートされ、すべての VirtualBox プロセスで API イベント監視がスキップされるようになります。

[DE\_Hotfix\_1756] (SEG-14686)

問題:

スマートフィードバックを有効にすると、脅威についての情報が Trend Micro Smart Protection Network に匿名で共有されるが、機械学習型検索から送信されるフィードバックは匿名でない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、CI エンジンとウイルスバスター Corp.クライアントプログラムがアップデートされ、この問題が修正されます。

## ■修正されるウイルスバスター Corp. XG Service Pack 1 の各問題および新機能(英語版との差分)

[HotFix\_4423] (SEG-19626)

問題:

ウイルスバスター Corp.サーバで挙動監視設定の承認済みリストに UNC パスを追加できない問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、ウイルスバスター Corp.サーバのファイルがアップデートされ、この問題が修正されます。

[CP\_4430] (SEG-20645)

機能:

本 Service Pack は、ウイルスバスター Corp.サーバのグローバル設定を更新し、ウイルス対策プログラムとの互換性を確保するための特別なレジストリキーを、次の予約アップデート時にウイルスバスター Corp.クライアントに配信できるようにします。

注意: 2018 年 1 月 3 日にリリースされたマイクロソフト社のセキュリティ更新プログラムを適用する前に、特別なレジストリキーを追加しておく必要があります。

弊社製品をご利用の一部環境における 2018 年 1 月以降の Windows Update に関しては、次のリンクを参照してください。

<https://success.trendmicro.com/jp/solution/1119190>

[HotFix\_4417] (SEG-18616, SEG-18460)

問題:

ウイルスバスター Corp. XG Service Pack 1 へのバージョンアップ後、機械学習型検索を有効にすると、システムがサードパーティ製アプリケーションの特定のファイルにアクセスできなくなることがある問題

修正:

本 Service Pack の適用後は、挙動監視サービスがアップデートされ、有効なサードパーティ製アプリケーションがブロックされないようになります。

## ■その他追加される機能

[JP\_Hot fix 1895.u](TT-323316)

[JP\_Hot fix 5086.u](SEG-8667)

[JP\_Hot fix 6165.u](TT-351941)

[JP\_Hot fix 6373.u](TT-359490)

[JP\_Hot fix 6391.u](SEG-7611)

[JP\_Hot fix 1460.u](SEG-7608)

[JP\_Hot fix 1464.u](SEG-9218)

=====

### 機能:

サードパーティ製ウイルス対策製品のアンインストール - ウイルスバスター Corp.クライアントのインストール時に、次のサードパーティ製のウイルス対策製品が自動的にアンインストールされるようになります。

- Symantec Endpoint Protection 12.1.1101.401 (32/64 ビット版)
- Symantec Endpoint Protection 12.1.4100.4126 (64 ビット)
- Symantec Endpoint Protection 12.1.6318.6100 (32/64 ビット版)
- Symantec Endpoint Protection 12.1.7004.6500 (32/64 ビット版)
- McAfee Agent 4.8.0.641 (32/64 ビット版)
- McAfee Agent 5.0.2.132 (32/64 ビット版)